

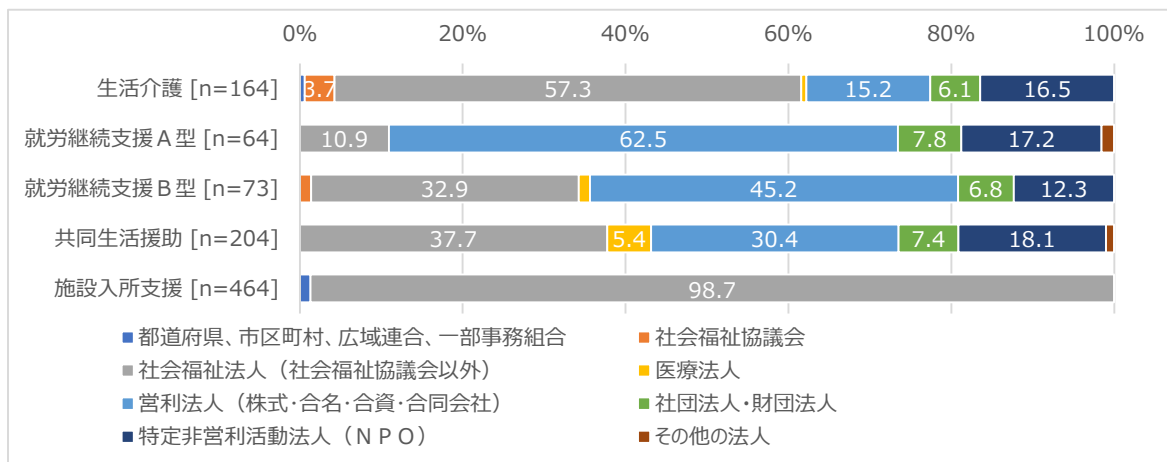
2 障害者支援施設及び通所系サービス等における口腔・栄養ケア等に係る調査

(1) 施設・事業所の基本情報

①法人種別

施設・事業所の運営法人の種別は、施設入所支援、生活介護では「社会福祉法人」、就労継続支援 A 型では「営利法人」が多くなっている。

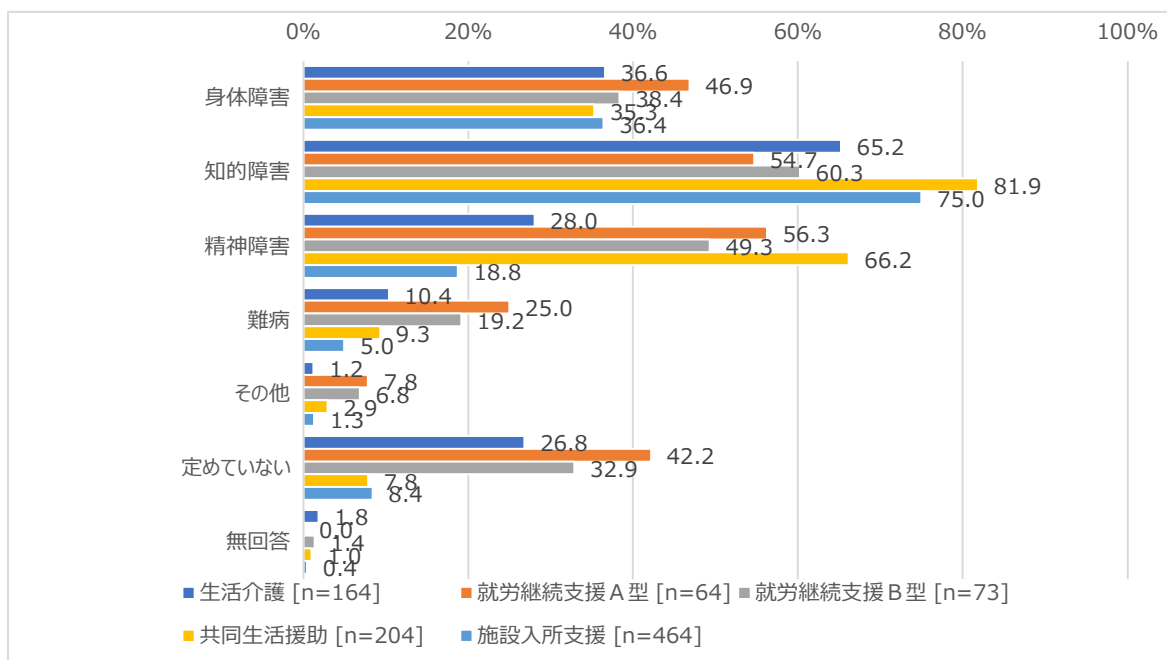
図表 1 法人種別



②事業の主たる対象とする障害種別

事業の主たる対象とする障害種別を聞いたところ、「知的障害」をあげる事業所が多くなっている。

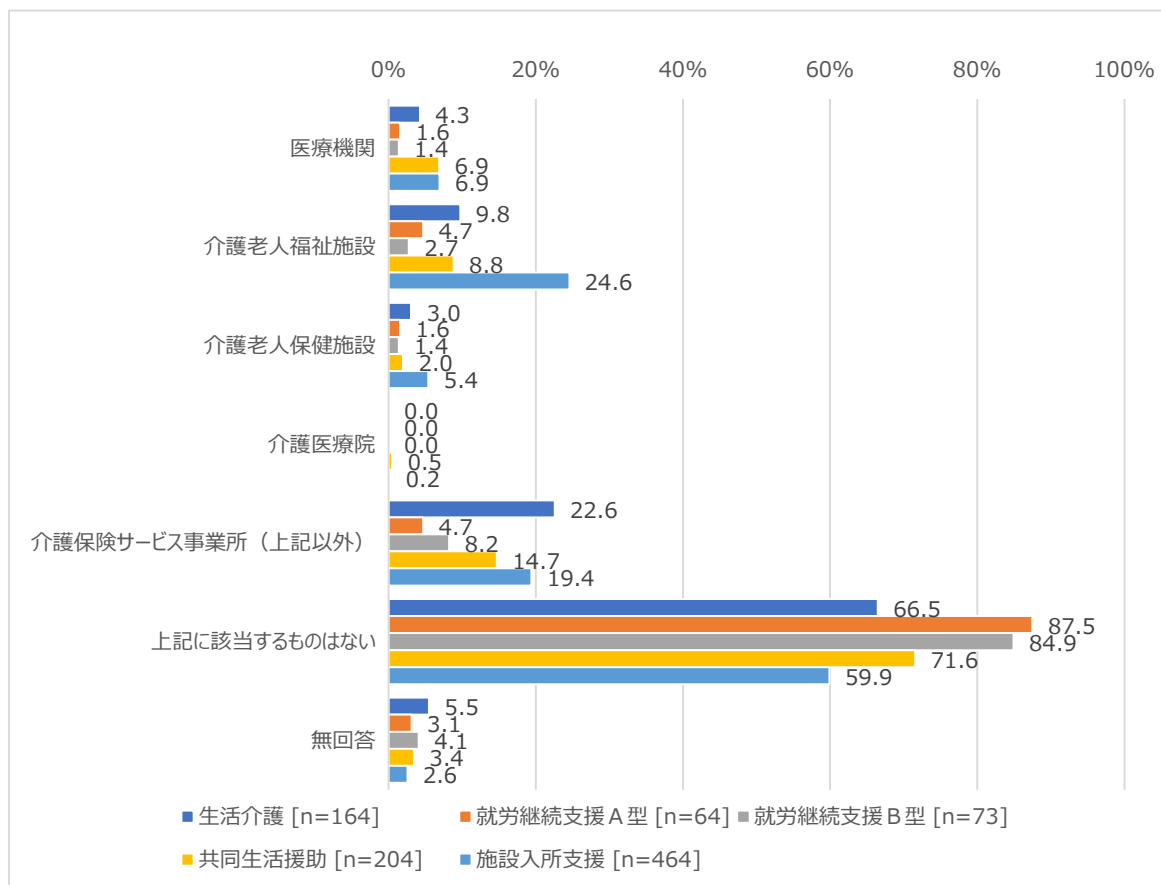
図表 2 事業の主たる対象とする障害種別〔複数回答〕



③法人の運営施設等

施設・事業所を運営する法人が、医療、介護等の施設を運営しているかどうか聞いたところ、いずれのサービスも「該当するものはない」が多くなっている。

図表 3 法人の運営施設等〔複数回答〕



④定員数、開所日数

定員数、開所日数は、平均で以下の通りとなっている。

図表 4 定員数

(単位：人)	生活介護 [n=164]	就労継続支援 A 型 [n=64]	就労継続支援 B 型 [n=73]	共同生活援助 [n=202]	施設入所支援 [n=464]
平均値	20.7	19.3	20.9	15.1	51.3

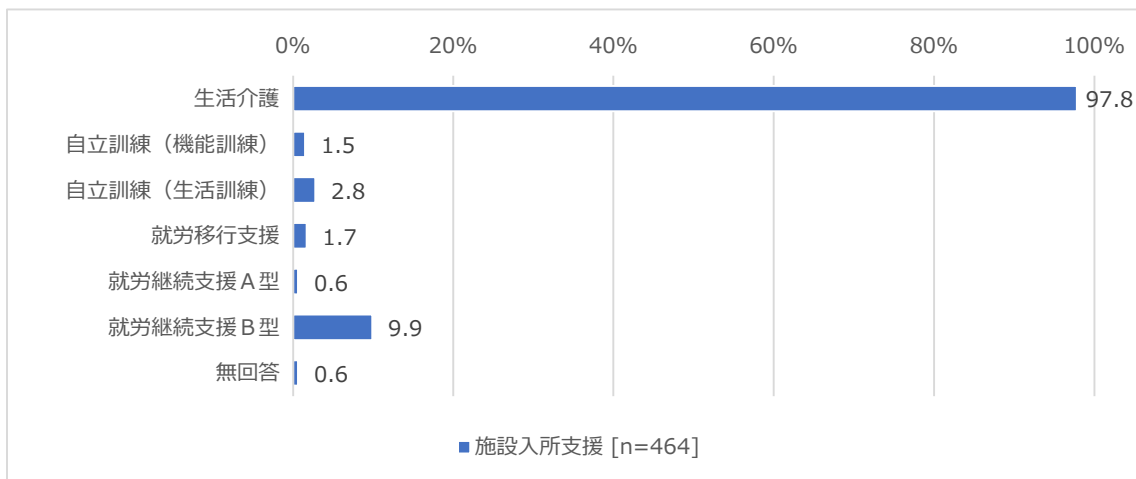
図表 5 開所日数

(単位：日)	生活介護 [n=161]	就労継続支援 A 型 [n=63]	就労継続支援 B 型 [n=71]
平均値	23.4	24.5	23.3

⑤障害者支援施設として指定されている昼間実施サービス

調査対象サービスが施設入所支援の事業所に、障害者支援施設として指定されている昼間実施サービスを聞いたところ、「生活介護」が97.8%とほとんどを占める。

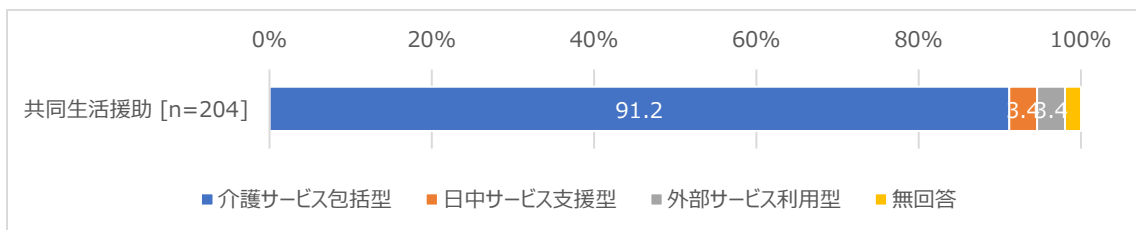
図表 6 障害者支援施設として指定されている昼間実施サービス〔複数回答〕



⑥共同生活援助の事業所類型

調査対象サービスが共同生活援助の事業所に、類型を聞いたところ、「介護サービス包括型」が91.2%とほとんどを占める。

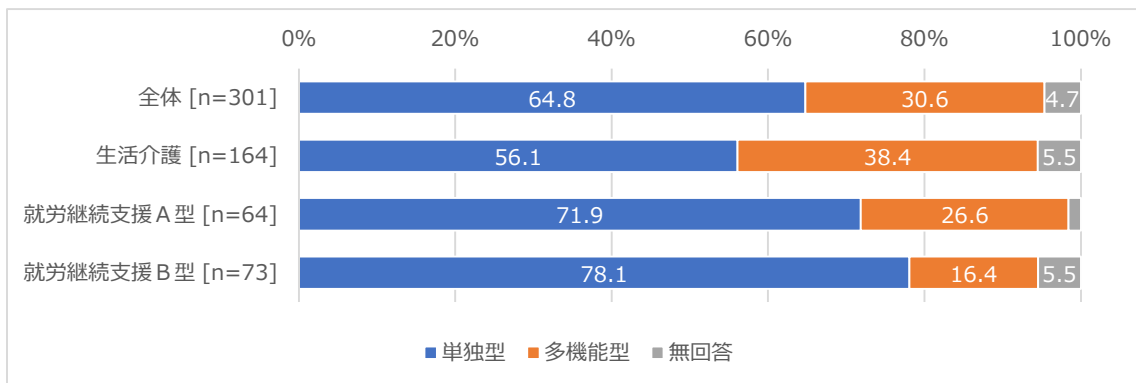
図表 7 共同生活援助の事業所類型



⑦通所型事業所の形態

調査対象サービスが生活介護、就労継続支援 A型・B型の事業所に、通所型の形態を聞いたところ、「単独型」が64.8%、「多機能型」が30.6%となっている。

図表 8 通所型事業所の形態



⑧実利用者数

令和7年7月の施設・事業所の実利用者数は、全体で合計人数が平均 32.9 人となっている。

図表 9 令和7年7月の実利用者数

(単位：人)	全体 [n=942]	生活介護 [n=157]	就労継続 支援 A 型 [n=61]	就労継続 支援 B 型 [n=72]	共同生活 援助 [n=195]	施設入所 支援 [n=457]
男_18 歳未満	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女_18 歳未満	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、強度行動障害を有する者	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、重症心身障害者	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男_18 歳以上 40 歳未満	4.7	6.7	5.3	5.4	2.6	4.7
うち、強度行動障害を有する者	1.6	2.3	0.0	0.1	0.3	2.4
うち、重症心身障害者	0.4	0.8	0.0	0.1	0.0	0.6
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
女_18 歳以上 40 歳未満	2.9	4.8	4.1	4.2	1.8	2.4
うち、強度行動障害を有する者	0.7	1.1	0.0	0.1	0.1	1.0
うち、重症心身障害者	0.3	0.9	0.0	0.0	0.0	0.4
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1
男_40 歳以上 50 歳未満	3.8	2.2	2.5	2.5	1.9	5.5
うち、強度行動障害を有する者	1.4	0.5	0.0	0.0	0.1	2.6
うち、重症心身障害者	0.3	0.2	0.0	0.0	0.1	0.6
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2
女_40 歳以上 50 歳未満	2.3	1.5	1.8	2.3	1.2	3.1
うち、強度行動障害を有する者	0.6	0.2	0.0	0.0	0.1	1.2
うち、重症心身障害者	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
男_50 歳以上 65 歳未満	7.1	2.6	3.5	3.6	2.8	11.5
うち、強度行動障害を有する者	2.0	0.4	0.0	0.0	0.2	4.0
うち、重症心身障害者	0.6	0.1	0.0	0.0	0.1	1.2
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.7
女_50 歳以上 65 歳未満	4.7	1.8	2.2	2.5	1.8	7.5
うち、強度行動障害を有する者	1.1	0.2	0.0	0.0	0.0	2.2
うち、重症心身障害者	0.4	0.1	0.0	0.0	0.1	0.9
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	0.4
男_65 歳以上	4.0	0.9	0.3	1.3	1.2	7.1
うち、強度行動障害を有する者	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	1.1
うち、重症心身障害者	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
女_65 歳以上	3.4	0.8	0.2	0.6	0.5	6.5
うち、強度行動障害を有する者	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
うち、重症心身障害者	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
男_合計	19.6	12.7	11.7	12.9	8.6	28.8
うち、強度行動障害を有する者	5.5	3.2	0.0	0.1	0.6	10.0
うち、重症心身障害者	1.7	1.2	0.0	0.1	0.2	3.0
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.9	0.3	0.1	0.1	0.1	1.6
女_合計	13.3	8.9	8.4	9.7	5.3	19.5
うち、強度行動障害を有する者	3.0	1.5	0.0	0.1	0.2	5.5
うち、重症心身障害者	1.3	1.2	0.0	0.0	0.1	2.3
うち、医療的ケアを要する者（重心以外）	0.6	0.3	0.2	0.0	0.1	1.1
合計	32.9	21.6	20.0	22.5	13.8	48.4

⑨障害支援区分別の実利用者数

令和7年7月の実利用者数を障害支援区分別で聞いたところ、生活介護、施設入所支援では「区分6」、就労継続支援では「区分なし・不明」が多くなっている。

図表 10 令和7年7月の障害支援区分別実利用者数

(単位：人)	全体 [n=919]	生活介護 [n=155]	就労継続 支援 A型 [n=57]	就労継続 支援 B型 [n=68]	共同生活 援助 [n=192]	施設入所 支援 [n=447]
区分1	0.2	0.0	0.3	0.8	0.3	0.0
区分2	1.1	0.3	1.3	2.9	3.2	0.2
区分3	2.2	2.2	0.9	3.9	3.8	1.5
区分4	4.7	5.2	0.4	2.2	2.9	6.2
区分5	7.5	5.6	0.1	0.6	1.7	12.6
区分6	15.3	8.5	0.3	1.1	1.2	27.8
区分なし・不明	2.0	0.0	17.0	11.2	0.8	0.0
合計	33.0	21.7	20.3	22.8	13.9	48.4

⑩施設・事業所に所属する職員数

施設・事業所に所属する職員数は、平均で以下の通りである。

図表 11 施設・事業所に所属する職員数

(単位：人)		全体 [n=957]	生活介護 [n=162]	就労継続支 援A型 [n=64]	就労継続支 援B型 [n=72]	共同生活援 助 [n=198]	施設入所支 援 [n=461]
1 管理者	常勤(実人数)	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	1.0
	非常勤(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
	嘱託等(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2 サービス管理責任者	常勤(実人数)	1.2	1.0	1.1	1.0	0.9	1.5
	非常勤(実人数)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
	嘱託等(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 生活支援員	常勤(実人数)	12.8	5.2	1.3	2.3	2.2	23.4
	非常勤(実人数)	4.6	4.0	0.9	1.3	2.9	6.5
	嘱託等(実人数)	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.6
4 就労支援員	常勤(実人数)	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0
	非常勤(実人数)	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0
	嘱託等(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 職業指導員	常勤(実人数)	0.5	0.3	2.3	1.3	0.0	0.3
	非常勤(実人数)	0.3	0.2	1.5	1.0	0.1	0.1
	嘱託等(実人数)	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
6 世話人	常勤(実人数)	0.6	0.0	0.0	0.0	2.6	0.1
	非常勤(実人数)	1.0	0.1	0.0	0.0	4.7	0.1
	嘱託等(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
7 理学療法士・作業療法士	常勤(実人数)	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3
	非常勤(実人数)	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2
	嘱託等(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
8 言語聴覚士	常勤(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非常勤(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	嘱託等(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9 医師	常勤(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非常勤(実人数)	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2
	嘱託等(実人数)	0.4	0.5	0.0	0.0	0.0	0.7
10 歯科医師	常勤(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非常勤(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	嘱託等(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
11 看護職員	常勤(実人数)	1.1	0.5	0.0	0.1	0.2	1.9
	非常勤(実人数)	0.5	1.0	0.0	0.0	0.1	0.6
	嘱託等(実人数)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
12 管理栄養士	常勤(実人数)	0.3	0.0	0.0	0.1	0.0	0.6
	非常勤(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	嘱託等(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13 栄養士	常勤(実人数)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
	非常勤(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	嘱託等(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
14 歯科衛生士	常勤(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非常勤(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	嘱託等(実人数)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
15 その他の職員	常勤(実人数)	1.7	0.5	0.8	0.4	0.1	3.2
	非常勤(実人数)	1.1	0.5	0.3	0.2	0.3	1.9
	嘱託等(実人数)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
合計	常勤(実人数)	19.7	8.6	6.3	6.3	7.0	32.9
	非常勤(実人数)	7.9	6.1	3.0	2.7	8.4	9.8
	嘱託等(実人数)	1.0	0.9	0.1	0.1	0.2	1.7

(2) 利用者の健康状態等に関する状況について

①健康状態等の観点から該当する利用者

調査対象サービスの利用者で、健康状態等の観点から該当する利用者の人数を聞いたところ、以下の通りとなっている。虫歯、歯周病疾患の利用者が比較的多く見られる。

図表 12 健康状態等の観点から該当する利用者

(単位：人)			全体 [n=931]	生活介護 [n=156]	就労継続 支援A型 [n=61]	就労継続 支援B型 [n=72]	共同生活 援助 [n=195]	施設入所 支援 [n=447]
BMIの状況	低体重（BMIが18.5未満）	男性	2.7	1.0	0.4	0.3	0.4	4.9
		女性	1.8	0.5	0.2	0.2	0.2	3.3
	肥満（BMIが25以上）	男性	2.4	2.3	1.0	2.3	1.5	3.1
		女性	2.3	1.9	1.0	1.5	1.2	3.3
生活習慣病等の 状況	糖尿病	男性	1.0	0.5	0.2	0.5	0.7	1.5
		女性	0.8	0.3	0.3	0.3	0.4	1.2
	高血圧症	男性	2.5	1.0	0.3	0.9	1.1	4.3
		女性	1.7	0.5	0.3	0.3	0.5	3.0
	脂質異常症	男性	1.8	0.8	0.1	0.2	0.6	3.1
		女性	1.6	0.4	0.1	0.2	0.3	3.0
	慢性腎臓病	男性	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.6
		女性	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4
	貧血	男性	0.8	0.1	0.0	0.0	0.1	1.7
		女性	0.9	0.3	0.2	0.2	0.2	1.7
	咀嚼・嚥下機能の障害	男性	1.8	0.5	0.0	0.0	0.2	3.4
		女性	1.5	0.4	0.0	0.0	0.1	2.9
	誤嚥性肺炎	男性	0.4	0.1	0.0	0.0	0.1	0.7
		女性	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4
口腔衛生の状況	酸蝕症	男性	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.3
		女性	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
	虫歯、歯周病疾患	男性	4.6	1.0	0.3	1.1	1.2	8.4
		女性	2.9	0.7	0.2	0.5	0.7	5.5
	義歯を使用	男性	1.6	0.4	0.1	0.3	0.7	2.9
		女性	1.4	0.4	0.1	0.2	0.3	2.6
その他	食行動に課題がある	男性	2.6	0.5	0.0	0.1	0.4	5.1
		女性	1.7	0.3	0.0	0.0	0.1	3.3

注）本問における健康状態等の観点から該当する利用者の人数は、施設・事業所で把握している範囲での回答であり、実際に診断等を受けている人数や疾患等を有する人数とは一致しない場合がある。

調査対象サービスの利用者に対する健康状態等の該当者の割合を見ると、施設入所支援で「虫歯、歯周病疾患」や「食行動に課題がある」利用者の割合が比較的高くなっている。また、「肥満」については、共同生活援助等で比較的高い割合となっている。

図表 13 健康状態等の観点から該当する利用者(利用者全体に対する割合)

(単位：人)			全体 [n=931]	生活介護 [n=156]	就労継続 支援A型 [n=61]	就労継続 支援B型 [n=72]	共同生活 援助 [n=195]	施設入所 支援 [n=447]
BMIの状況	低体重（BMIが18.5未満）	男性	13.7%	7.8%	3.4%	2.6%	4.1%	17.2%
		女性	13.3%	5.4%	2.9%	2.4%	3.5%	17.2%
	肥満（BMIが25以上）	男性	12.4%	17.9%	8.6%	18.3%	17.9%	10.7%
		女性	17.7%	20.6%	11.6%	15.4%	22.4%	17.2%
生活習慣病等の 状況	糖尿病	男性	5.1%	4.2%	2.0%	4.0%	7.7%	5.1%
		女性	5.8%	3.4%	4.1%	2.9%	7.6%	6.4%
	高血圧症	男性	13.1%	8.0%	2.4%	6.8%	13.1%	14.9%
		女性	12.7%	5.9%	3.5%	3.2%	10.3%	15.4%
	脂質異常症	男性	9.0%	6.0%	1.3%	1.4%	7.4%	10.7%
		女性	12.1%	4.7%	1.8%	2.2%	5.6%	15.5%
	慢性腎臓病	男性	1.6%	0.7%	0.1%	0.1%	0.4%	2.1%
		女性	1.4%	0.7%	0.2%	0.0%	0.5%	1.8%
	貧血	男性	4.3%	0.8%	0.0%	0.3%	1.3%	5.8%
		女性	6.9%	3.1%	2.0%	1.7%	3.3%	8.7%
	咀嚼・嚥下機能の障害	男性	9.2%	4.0%	0.1%	0.2%	2.2%	12.0%
		女性	11.2%	4.3%	0.0%	0.0%	1.3%	15.0%
	誤嚥性肺炎	男性	2.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.7%	2.5%
		女性	1.6%	1.1%	0.0%	0.0%	0.1%	2.1%
口腔衛生の状況	酸蝕症	男性	0.8%	0.1%	0.0%	0.4%	0.1%	1.1%
		女性	0.6%	0.2%	0.0%	0.3%	0.0%	0.8%
	虫歯、歯周病疾患	男性	23.5%	8.2%	2.5%	8.3%	14.1%	29.4%
		女性	22.3%	7.8%	2.4%	5.6%	12.6%	28.3%
義歯を使用	男性	8.4%	2.8%	1.0%	1.9%	8.4%	10.1%	
	女性	10.7%	4.6%	0.8%	1.9%	6.2%	13.4%	
その他	食行動に課題がある	男性	13.4%	3.8%	0.0%	0.6%	4.6%	17.7%
		女性	12.5%	2.9%	0.0%	0.3%	2.5%	17.0%

施設入所支援で、栄養マネジメント加算算定の有無で利用者に対する健康状態等の該当者の割合を見ると、「肥満」の割合について、加算算定施設で低くなっている傾向が見られる。

図表 14 健康状態等の観点から該当する利用者(利用者全体に対する割合)

(単位：人)			施設入所支援 [n=447]	栄養マネジメント加算有 [n=200]	栄養マネジメント加算無 [n=214]
BMIの状況	低体重 (BMIが18.5未満)	男性	17.2%	18.0%	17.0%
		女性	17.2%	18.7%	16.6%
	肥満 (BMIが25以上)	男性	10.7%	9.8%	12.0%
		女性	17.2%	15.3%	19.4%
生活習慣病等の 状況	糖尿病	男性	5.1%	5.8%	4.8%
		女性	6.4%	6.9%	6.0%
	高血圧症	男性	14.9%	15.6%	14.9%
		女性	15.4%	15.2%	16.1%
	脂質異常症	男性	10.7%	11.1%	10.9%
		女性	15.5%	15.4%	16.1%
	慢性腎臓病	男性	2.1%	2.6%	1.6%
		女性	1.8%	2.2%	1.6%
	貧血	男性	5.8%	6.6%	5.5%
		女性	8.7%	8.6%	9.1%
	咀嚼・嚥下機能の障害	男性	12.0%	13.9%	10.9%
		女性	15.0%	16.2%	14.2%
誤嚥性肺炎	男性	2.5%	3.3%	2.1%	
	女性	2.1%	2.8%	1.5%	
口腔衛生の状況	酸蝕症	男性	1.1%	0.9%	1.2%
		女性	0.8%	0.9%	0.7%
	虫歯、歯周病疾患	男性	29.4%	30.4%	27.9%
		女性	28.3%	29.0%	26.9%
義歯を使用	男性	10.1%	10.7%	9.8%	
	女性	13.4%	13.4%	13.7%	
その他	食行動に課題がある	男性	17.7%	19.0%	16.7%
		女性	17.0%	18.1%	15.9%

②該当者の個別状況

上記該当者の個別状況について聞いたところ、全体で5,790人分の回答があった。

注) 本問は、前問の「健康状態等の観点から該当する利用者」から、各施設・事業所で10人までを無作為に選択して回答されたもので、全該当者の集計ではなく、また、サービス利用者全体の集計でもないため、集計値を見る場合は注意が必要である。

なお、健康状態等の特性に関わらず対象者全員に同じ項目を聞いているため、対象者に該当しない、施設・事業所で把握していない等により、「無回答」の多くなっている場合がある。

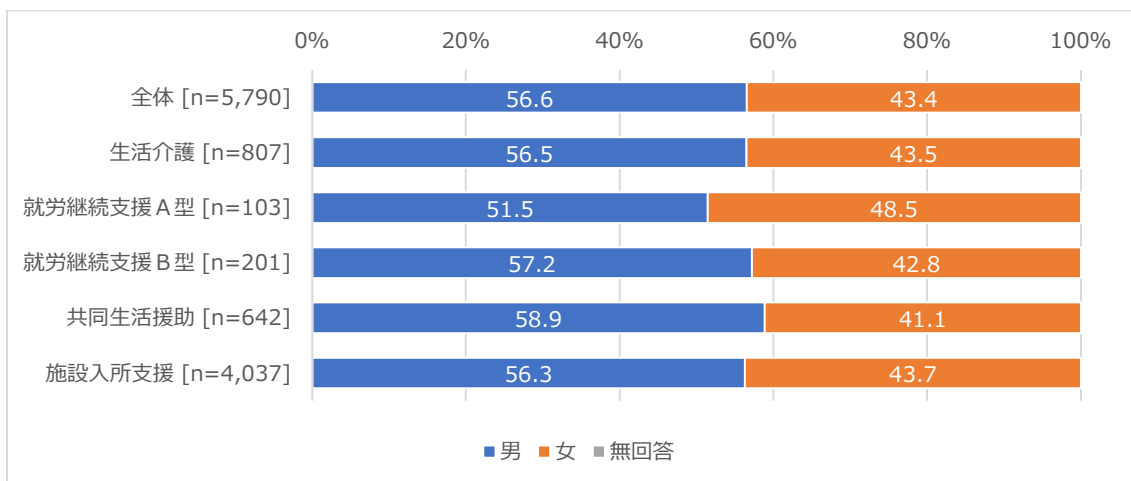
該当者の年齢は、平均で53.9歳となっている。

図表 15 該当者の個別状況_年齢

(単位：歳)	全体 [n=5,790]	生活介護 [n=807]	就労継続 支援A型 [n=103]	就労継続 支援B型 [n=201]	共同生活 援助 [n=642]	施設入所支 援 [n=4,037]
平均値	53.9	41.3	43.8	45.0	52.0	57.4

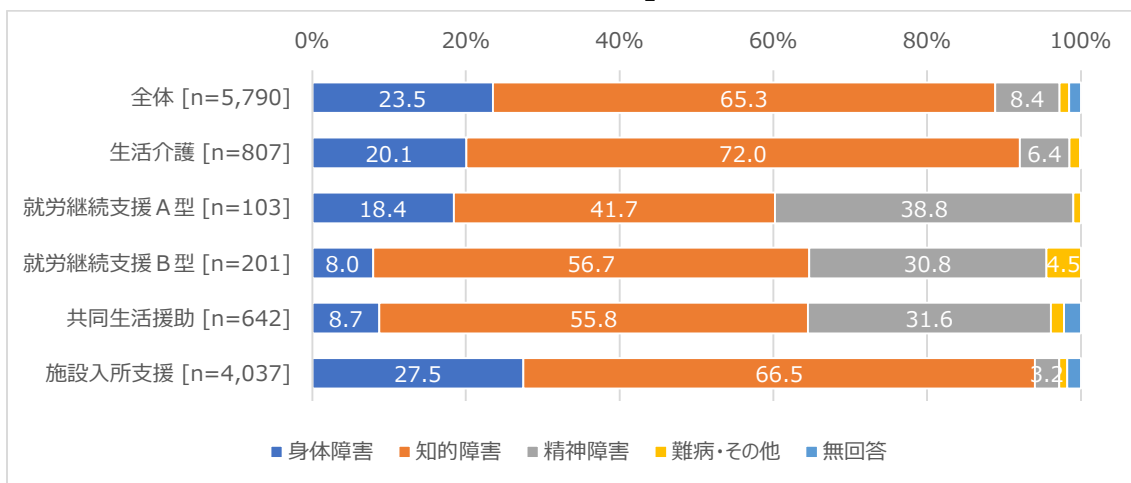
該当者の性別は、全体で「男」が 56.6%、「女」が 43.4%となっている。

図表 16 該当者の個別状況_性別



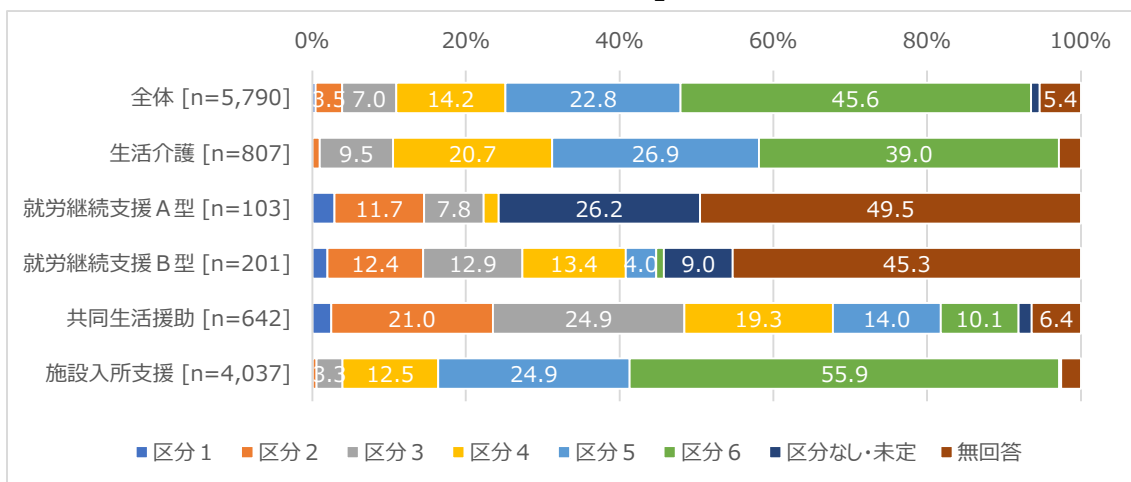
該当者の主たる障害種別は、全体で「知的障害」が 65.3%、「身体障害」が 23.5%、「精神障害」が 8.4%となっている。

図表 17 該当者の個別状況_主たる障害種別



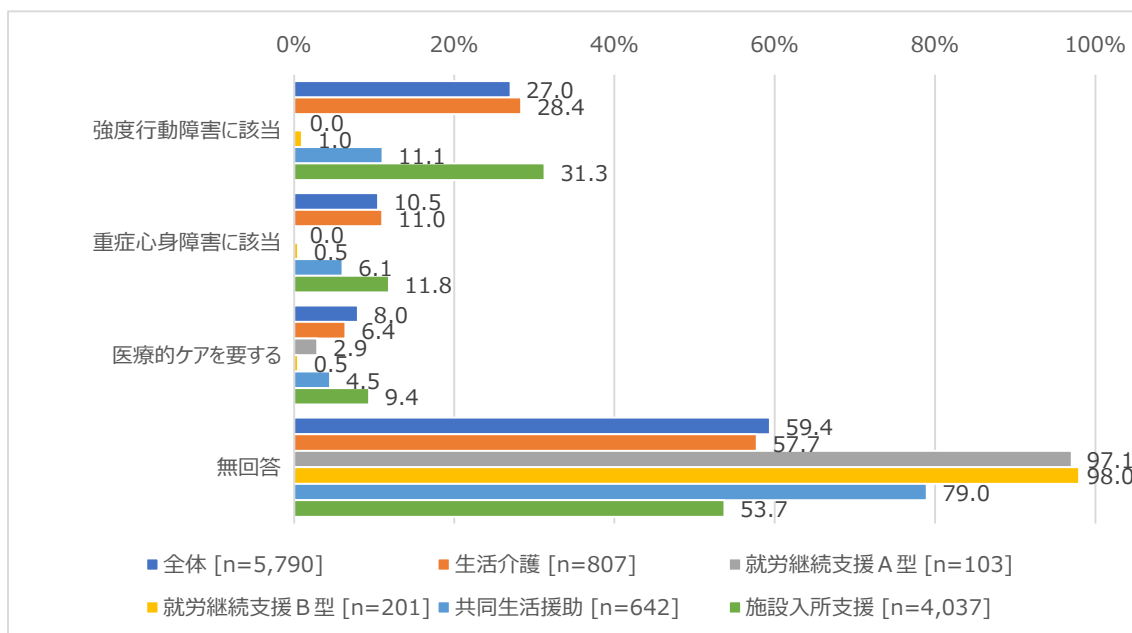
該当者の障害支援区分は、全体で「区分6」が 45.6%、「区分5」が 22.8%等となっている。

図表 18 該当者の個別状況_障害支援区分



該当者の強度行動障害、医療的ケア等の状況は、全体で「強度行動障害に該当」が 27.0%、「重症心身障害に該当」が 10.5%となっている。

図表 19 該当者の個別状況_強度行動障害、医療的ケア等の状況〔複数回答〕



該当者の身長は平均で 156.4 cm、体重は平均で 55.7 kgとなっている。BMI は平均で 22.7 となっている。BMI で低体重、普通、肥満に区分した場合で見ると、肥満（BMI が 25.0 以上）に区分される者で平均身長がやや低くなっている。

図表 20 該当者の個別状況_身長・体重・BMI

	全体 [n=5,553]	生活介護 [n=713]	就労継続支援 A型 [n=84]	就労継続支援 B型 [n=184]	共同生活援助 [n=557]	施設入所支援 [n=4,015]
平均身長 (cm)	156.4	156.8	162.4	160.0	159.8	155.5
平均体重 (kg)	55.7	61.8	69.6	70.6	64.7	52.5
BMI の平均値	22.7	25.0	26.3	27.6	25.3	21.7

図表 21 該当者の個別状況_身長・体重・BMI(BMI区分別)

	全体 [n=5,553]	低体重 (BMI が 18.5 未満) [n=1,509]	普通 (BMI が 18.5 以上 25.0 未満) [n=2,158]	肥満 (BMI が 25.0 以上) [n=1,886]
平均身長 (cm)	156.4	157.1	156.6	155.5
平均体重 (kg)	55.7	41.2	53.5	69.9
BMI の平均値	22.7	16.6	21.7	28.8

また、6か月前の体重は平均で54.9kgとなっている。現在の体重と6か月前の体重の差の平均を見ると、0.6kgの減少となっている。BMIで低体重、普通、肥満に区分した場合では、現在の体重と6か月前の体重の差の平均は、いずれの区分も減少となっている。

図表 22 該当者の個別状況_6か月前の体重

	全体 [n=4,525]	生活介護 [n=467]	就労継続支 援A型 [n=33]	就労継続支 援B型 [n=104]	共同生活援 助 [n=255]	施設入所支 援 [n=3,666]
6か月前の体重 (kg)	54.9	61.5	67.5	71.6	65.5	52.7
現在の体重 - 6か月前の体重の平均値 (kg)	-0.6	-0.4	0.4	0.0	-0.5	-0.6

図表 23 該当者の個別状況_6か月前の体重(BMI区分別)

	全体 [n=4,525]	低体重 (BMIが 18.5未満) [n=1,328]	普通 (BMIが18.5 以上25.0未満) [n=1,804]	肥満 (BMIが25.0 以上) [n=1,393]
6か月前の体重 (kg)	54.9	42.1	53.6	68.8
現在の体重 - 6か月前の体重の平均値 (kg)	-0.6	-0.9	-0.5	-0.4

該当者のサービス利用開始から現在までの期間は以下の通りである。

図表 24 該当者の個別状況_サービス利用開始から現在までの期間

(単位：年)	全体 [n=5,334]	生活介護 [n=723]	就労継続 支援A型 [n=93]	就労継続 支援B型 [n=183]	共同生活 援助 [n=576]	施設入所支 援 [n=3,759]
平均値	16.2	10.3	6.5	5.3	8.4	19.3

通所事業所に、該当者の個別支援計画に定める1日の標準的な支援時間を聞いたところ、平均で6.0時間となっている。また、1か月のサービス利用日数は平均で19.1日となっている。

図表 25 該当者の個別状況_(通所のみ)個別支援計画に定める1日の標準的な支援時間

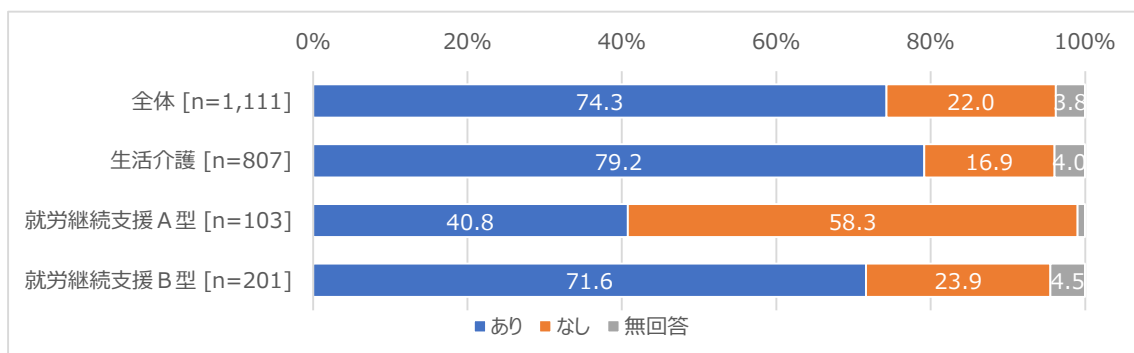
(単位：時間)	全体 [n=1,050]	生活介護 [n=757]	就労継続支援 A型 [n=100]	就労継続支援 B型 [n=193]
平均値	6.0	6.4	5.2	5.2

図表 26 該当者の個別状況_(通所のみ)1か月のサービス利用日数

(単位：日)	全体 [n=1,052]	生活介護 [n=766]	就労継続支援 A型 [n=98]	就労継続支援 B型 [n=188]
平均値	19.1	18.7	21.8	19.1

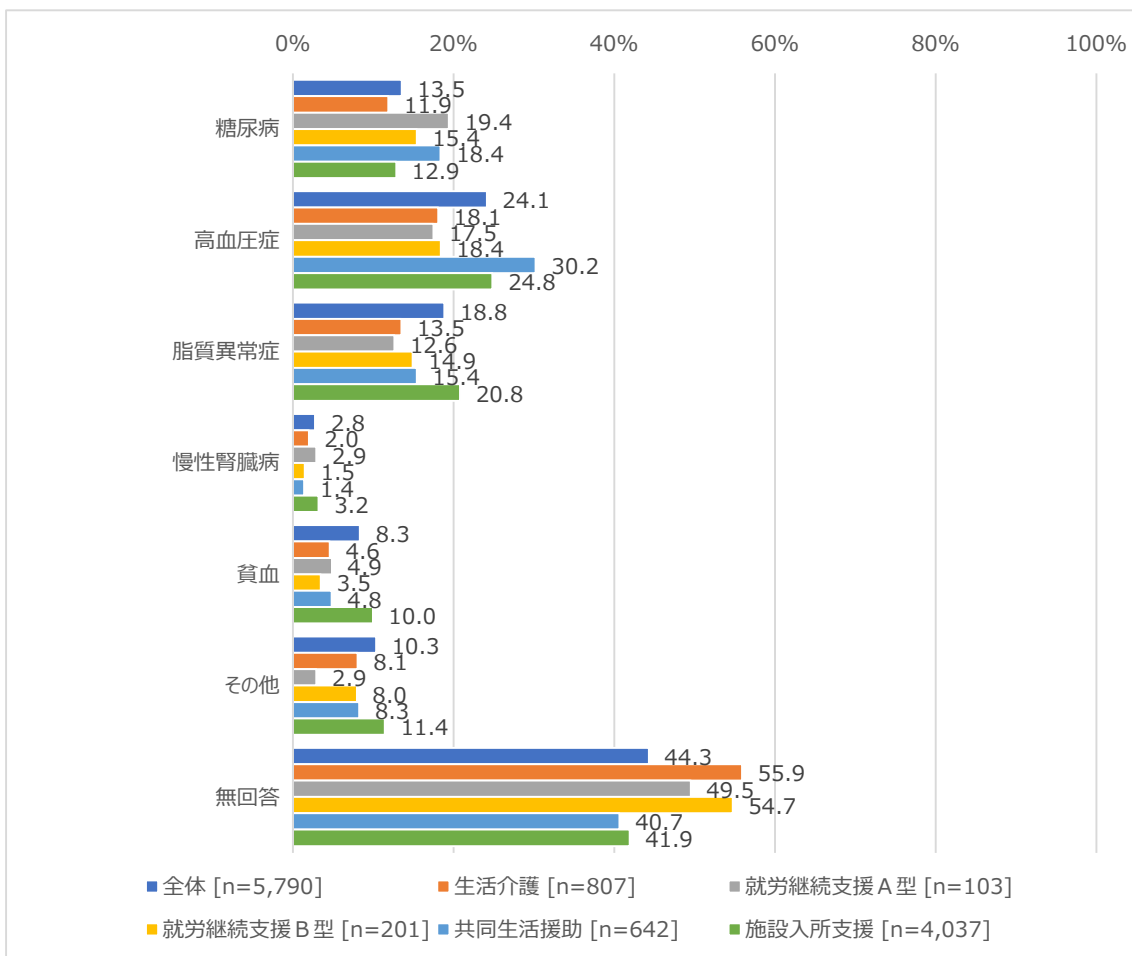
通所事業所に、該当者への食事の提供状況を聞いたところ、「あり」が74.3%、「なし」が22.0%となっている。

図表 27 該当者の個別状況_(通所のみ)食事の提供



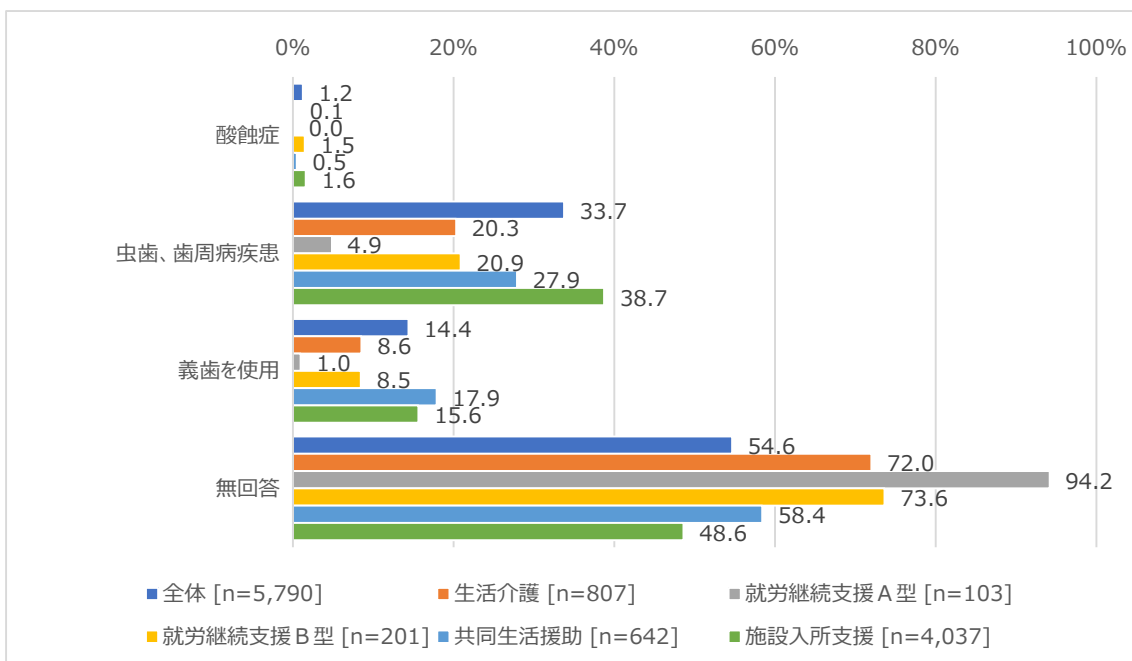
該当者の生活習慣病等の状況は、「高血圧症」が24.1%、「脂質異常症」が18.8%等見られる。

図表 28 該当者の個別状況_生活習慣病等の状況〔複数回答〕



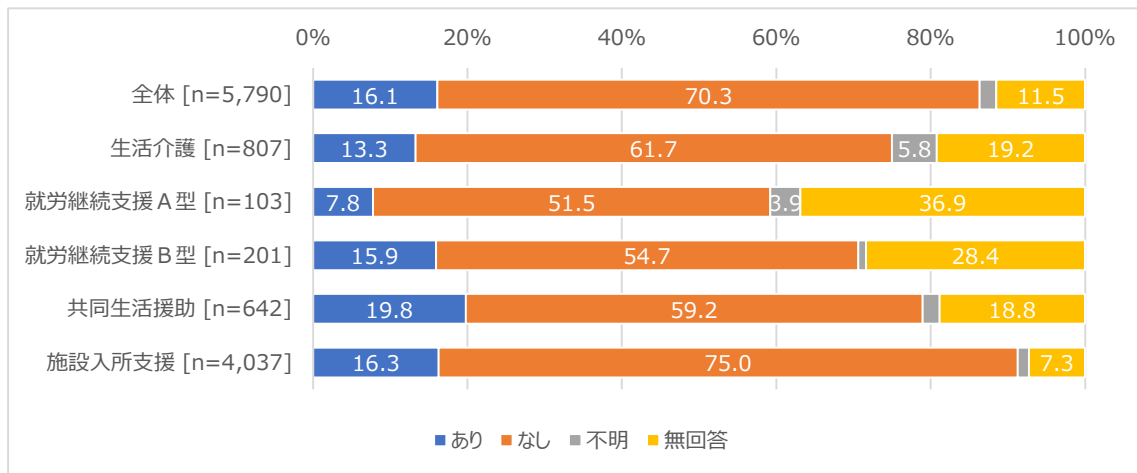
該当者の口腔衛生の状況は、「虫歯、歯周病疾患」が33.7%、「義歯を使用」が14.4%等見られる。

図表 29 該当者の個別状況_口腔衛生の状況〔複数回答〕



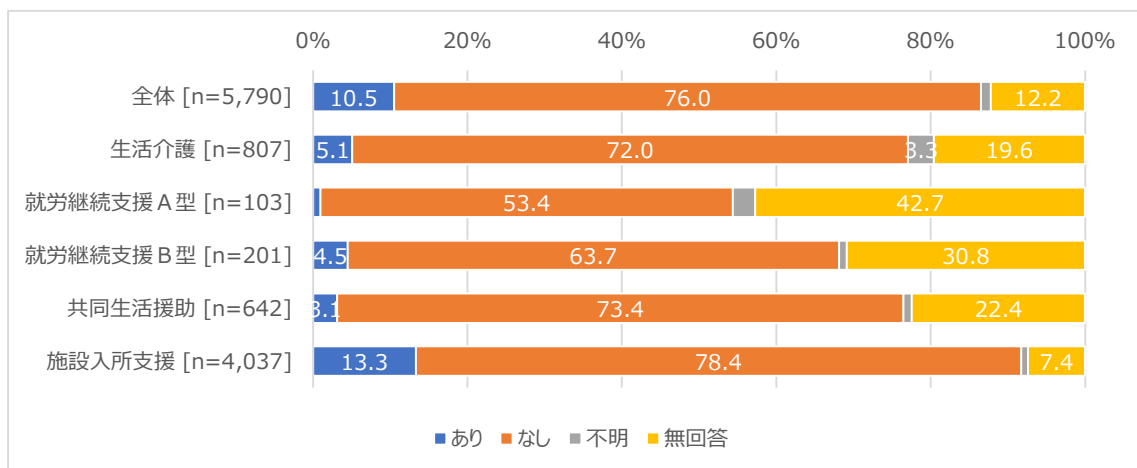
該当者の栄養ケア・口腔ケアの課題について聞いた。過食については、「なし」が70.3%、「あり」が16.1%となっている。

図表 30 過食



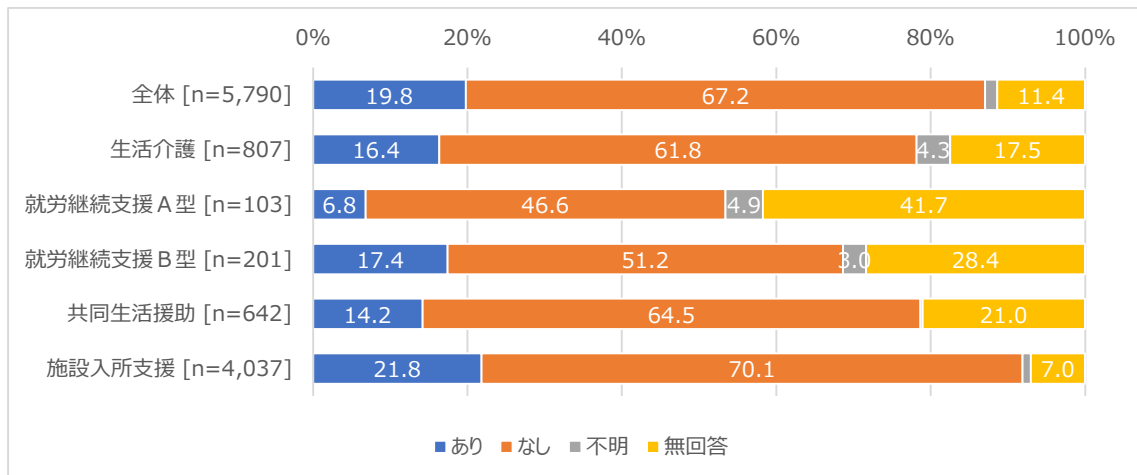
拒食は、「なし」が76.0%、「あり」が10.5%となっている。

図表 31 拒食



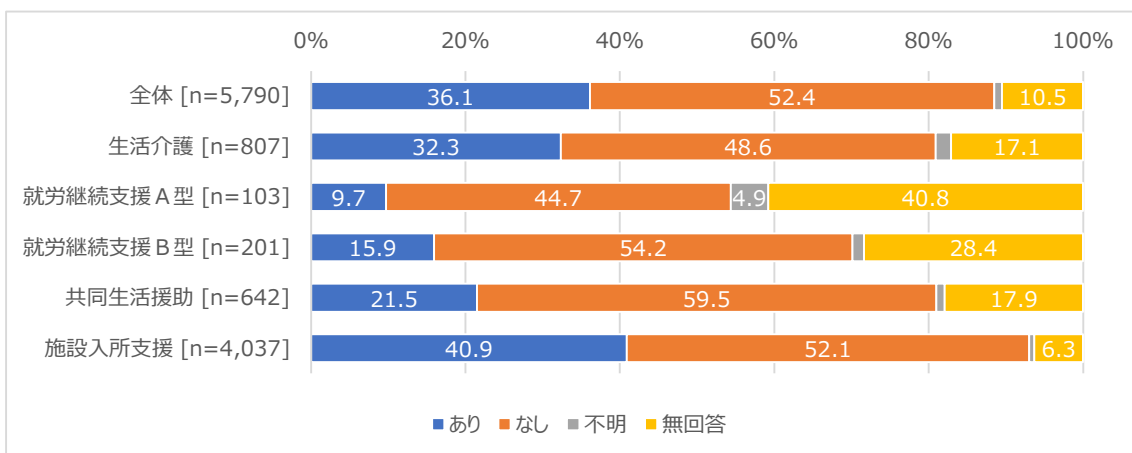
偏食は、「なし」が67.2%、「あり」が19.8%となっている。

図表 32 偏食



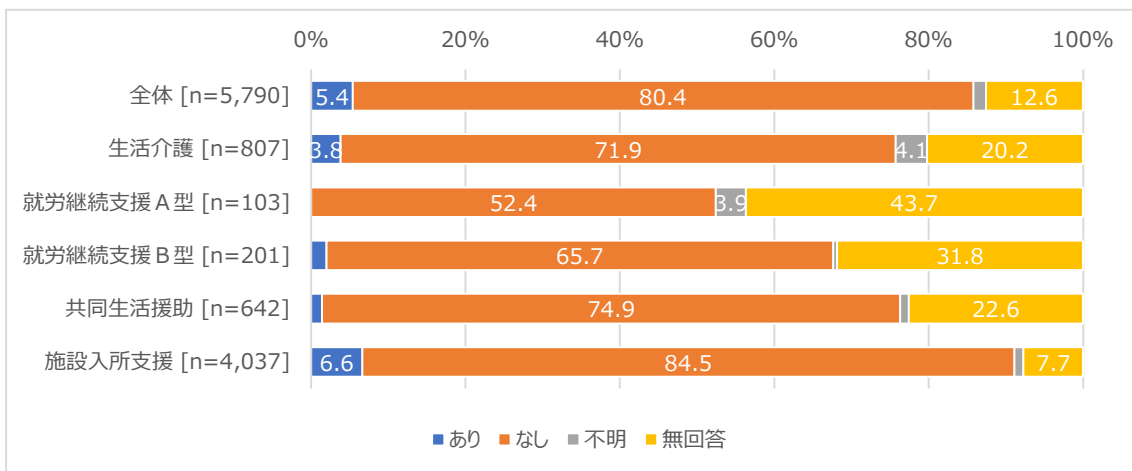
早食い・丸呑みは、「なし」が52.4%、「あり」が36.1%となっている。

図表 33 早食い・丸呑み



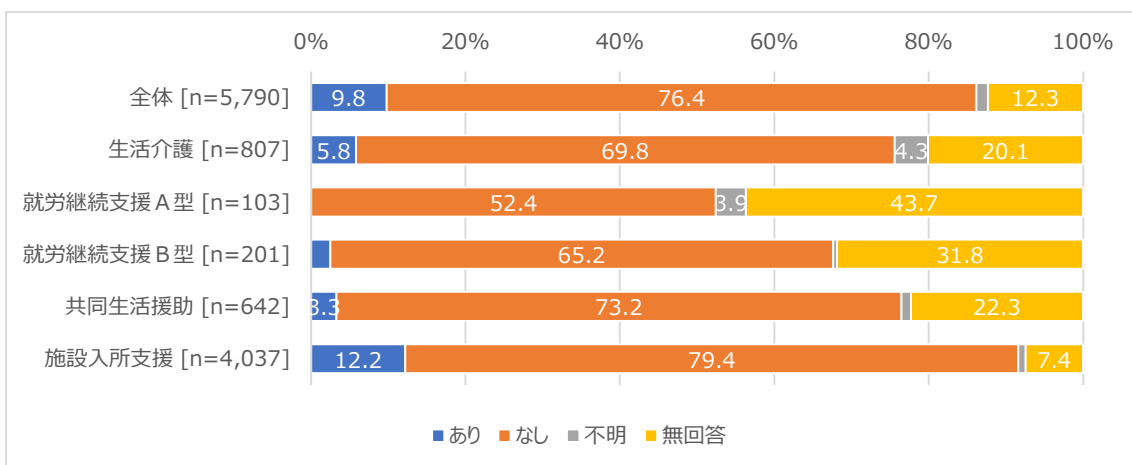
異食は、「なし」が80.4%、「あり」が5.4%となっている。

図表 34 異食



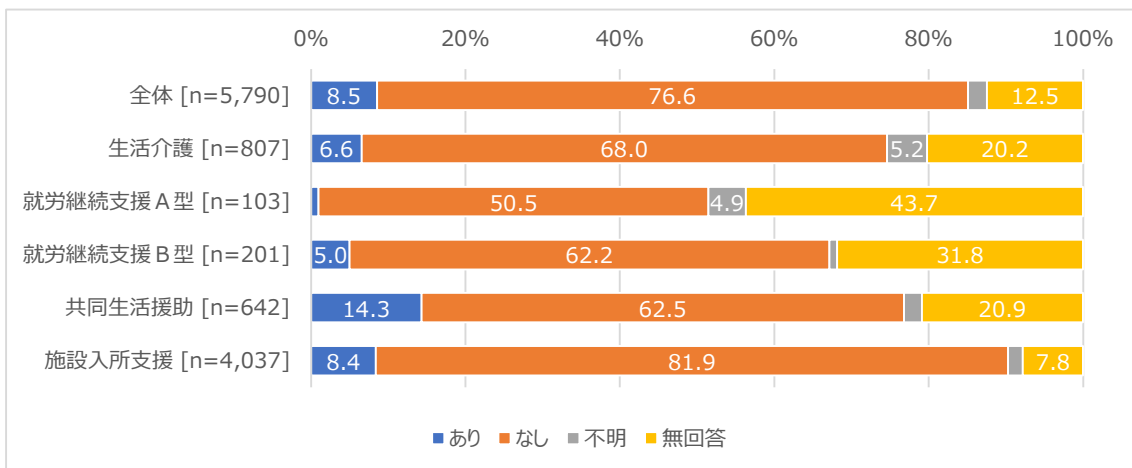
盗食は、「なし」が76.4%、「あり」が9.8%となっている。

図表 35 盗食



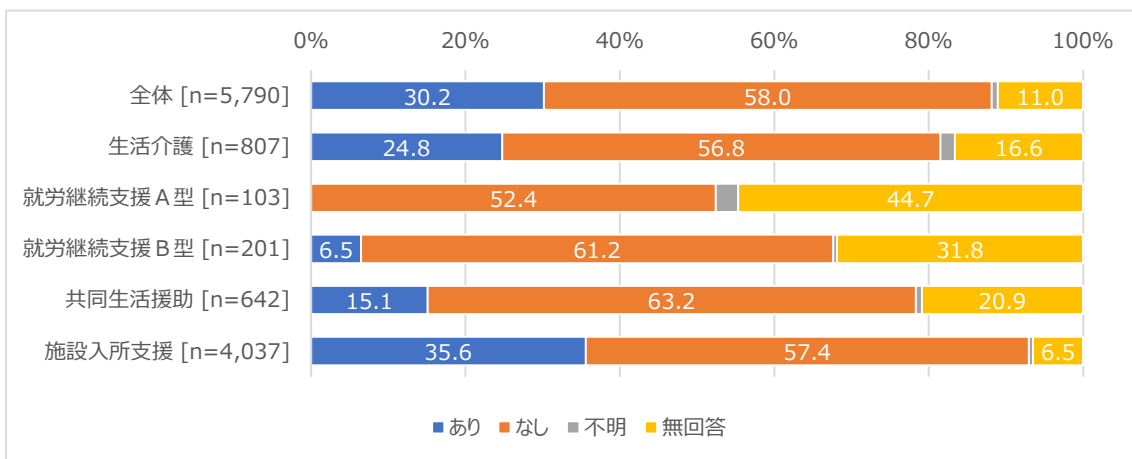
隠れ食いは、「なし」が76.6%、「あり」が8.5%となっている。

図表 36 隠れ食い



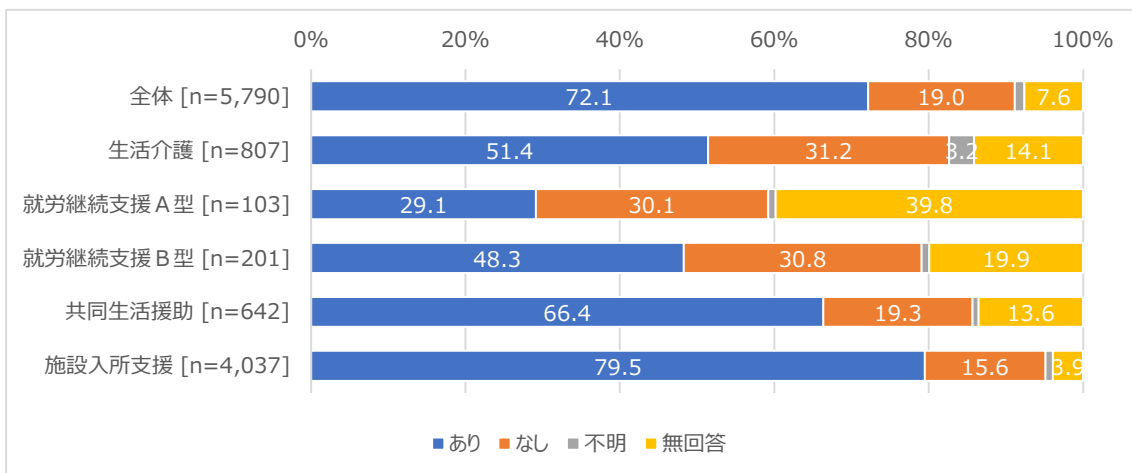
食べこぼしは、「なし」が58.0%、「あり」が30.2%となっている。

図表 37 食べこぼし



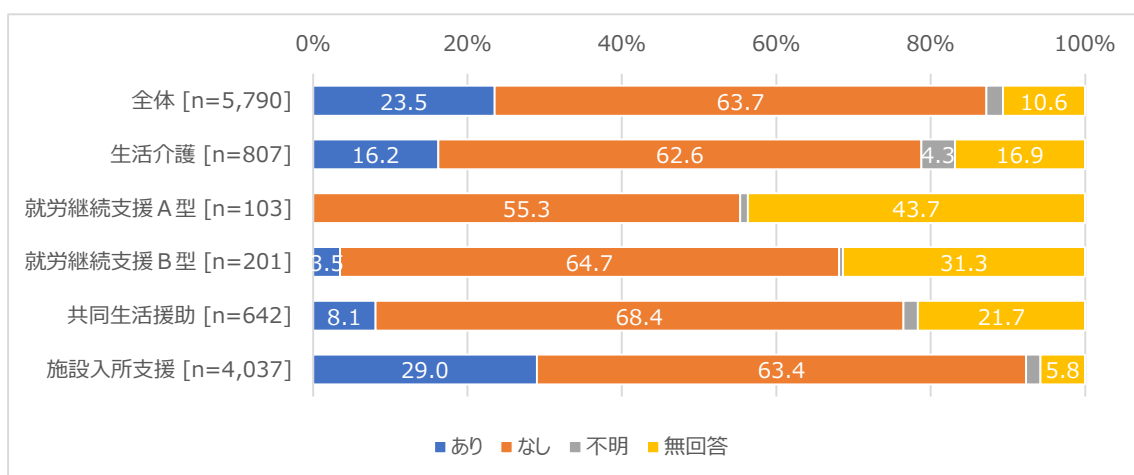
服薬は、「あり」が72.1%、「なし」が19.0%となっている。

図表 38 服薬



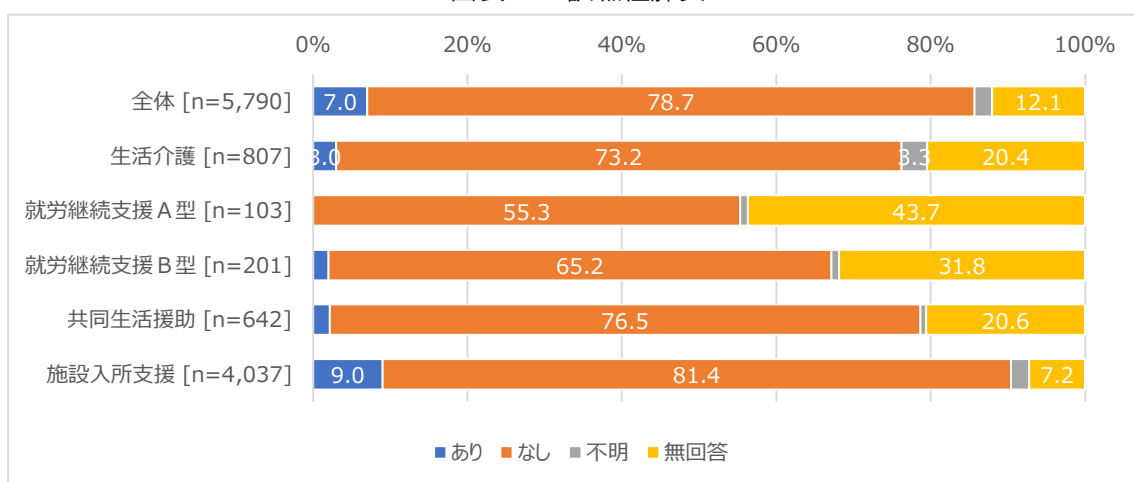
咀嚼・嚥下機能の障害は、「なし」が63.7%、「あり」が23.5%となっている。

図表 39 咀嚼・嚥下機能の障害



誤嚥性肺炎は、「なし」が78.7%、「あり」が7.0%となっている。

図表 40 誤嚥性肺炎



該当者の口腔・栄養ケア上の課題が判明した時期を聞いたところ、平均で45.0歳の頃となっている。

図表 41 該当者の個別状況_口腔・栄養ケア上の課題が判明した時期

(単位：歳)	全体 [n=330]	生活介護 [n=23]	就労継続支援 A型 [n=4]	就労継続支援 B型 [n=12]	共同生活援助 [n=19]	施設入所支援 [n=272]
平均値	45.0	41.5	29.0	42.5	43.6	45.8

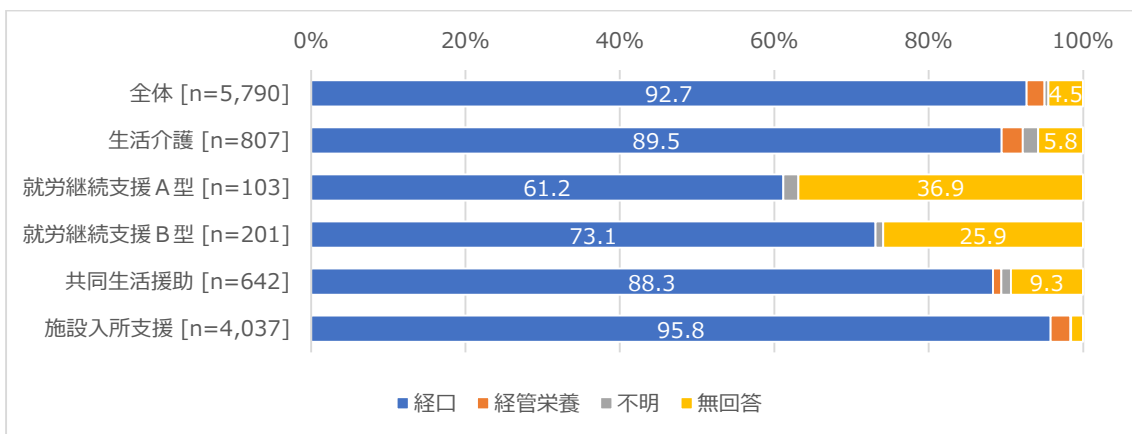
該当者の通院状況については、医科は平均で0.9回、歯科は平均で0.5回となっている。

図表 42 該当者の個別状況_通院状況

(単位：回)	全体 [n=5,790]	生活介護 [n=807]	就労継続支援 A型 [n=103]	就労継続支援 B型 [n=201]	共同生活援助 [n=642]	施設入所支援 [n=4,037]
医科	0.9	0.4	0.2	0.6	0.9	1.0
歯科	0.5	0.2	0.1	0.2	0.4	0.5

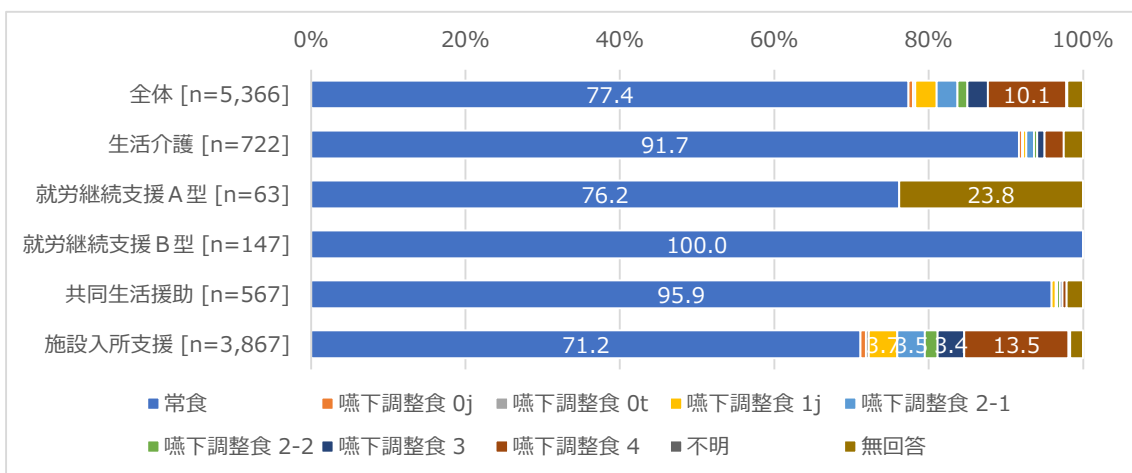
該当者の栄養補給形態については、「経口」が92.7%となっている。

図表 43 該当者の個別状況_栄養補給形態



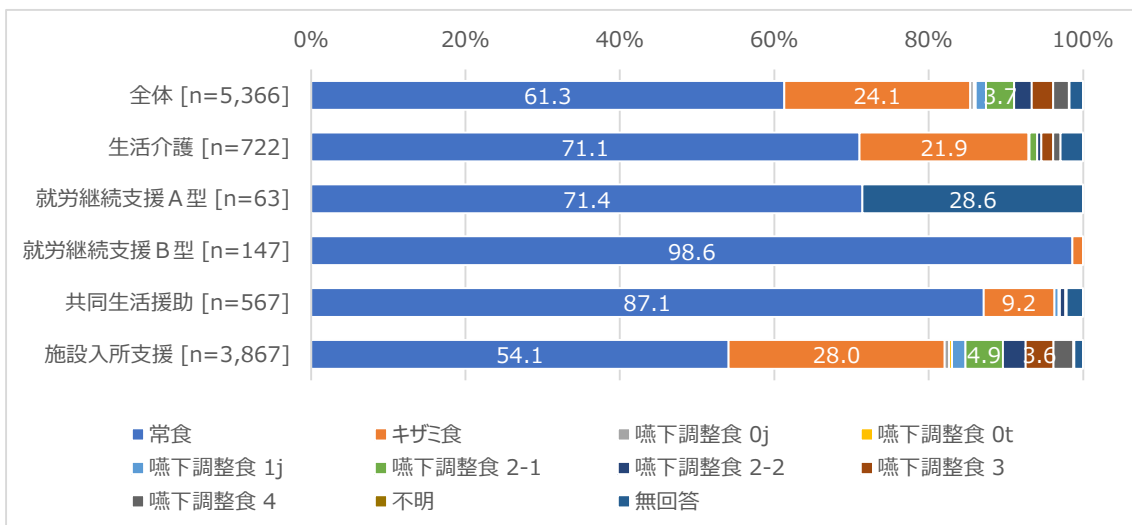
経口の食事を提供している場合に、該当者の食事形態を聞いた。主食については、「常食」が77.4%、「嚥下調整食 4」が10.1%等となっている。

図表 44 該当者の個別状況_食事形態(経口の食事を提供している場合)_主食



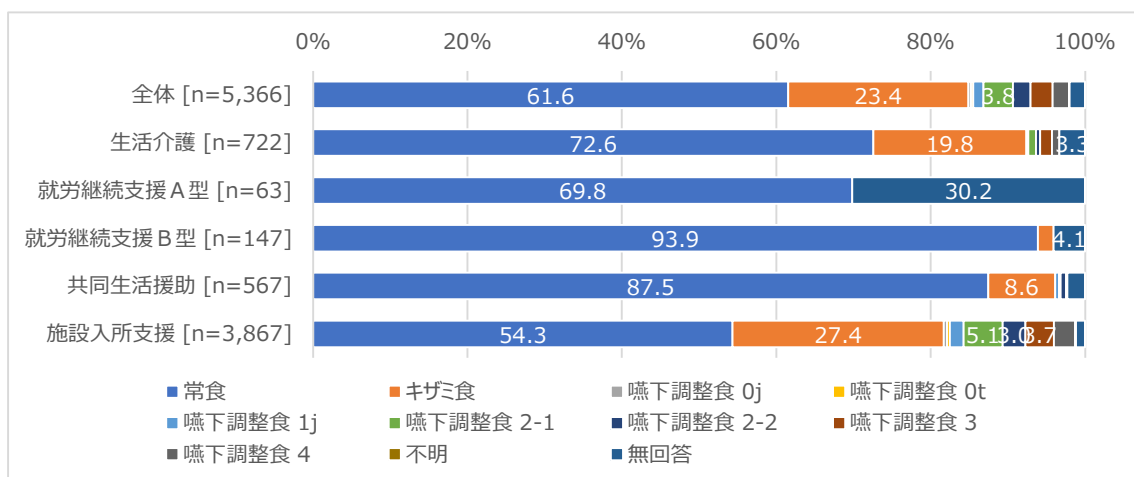
副食(主菜)は、「常食」が61.3%、「キザミ食」が24.1%、「嚥下調整食 2-1」が3.7%等となっている。

図表 45 該当者の個別状況_食事形態(経口の食事を提供している場合)_副食(主菜)



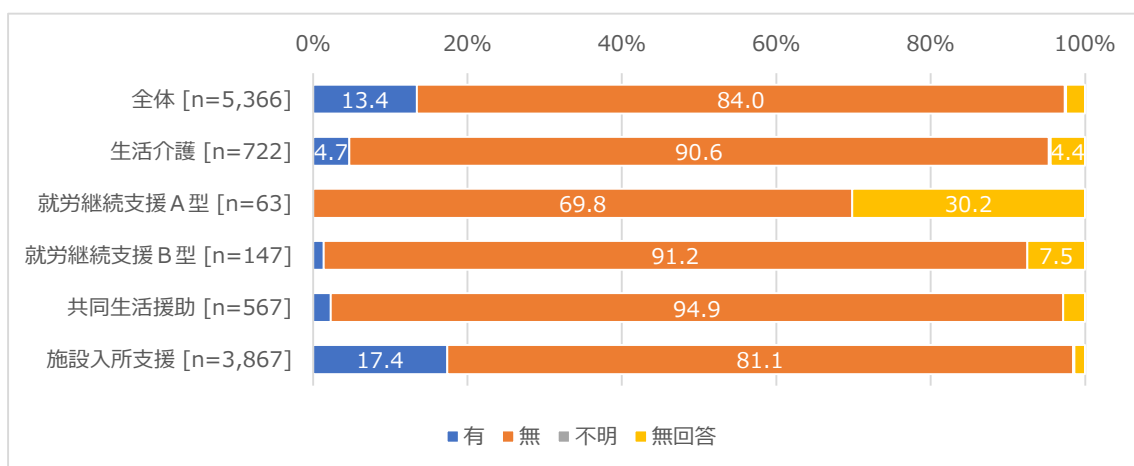
副食（副菜）は、「常食」が61.6%、「キザミ食」が23.4%、「嚥下調整食 2-1」が3.8%等となっている。

図表 46 該当者の個別状況_食事形態(経口の食事を提供している場合)_副食(副菜)



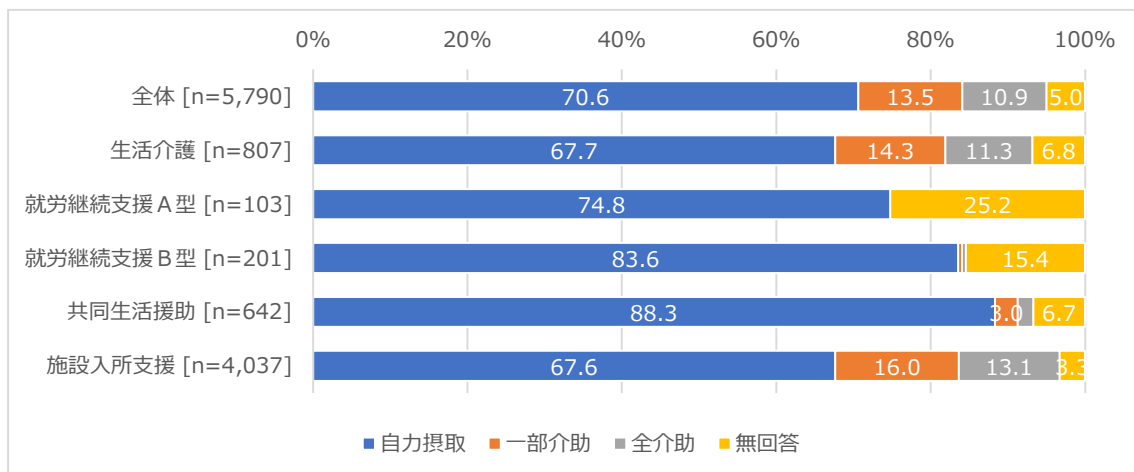
水分のとろみ剤使用は、「無」が84.0%、「有」が13.4%となっている。

図表 47 該当者の個別状況_食事形態(経口の食事を提供している場合)_水分のとろみ剤使用



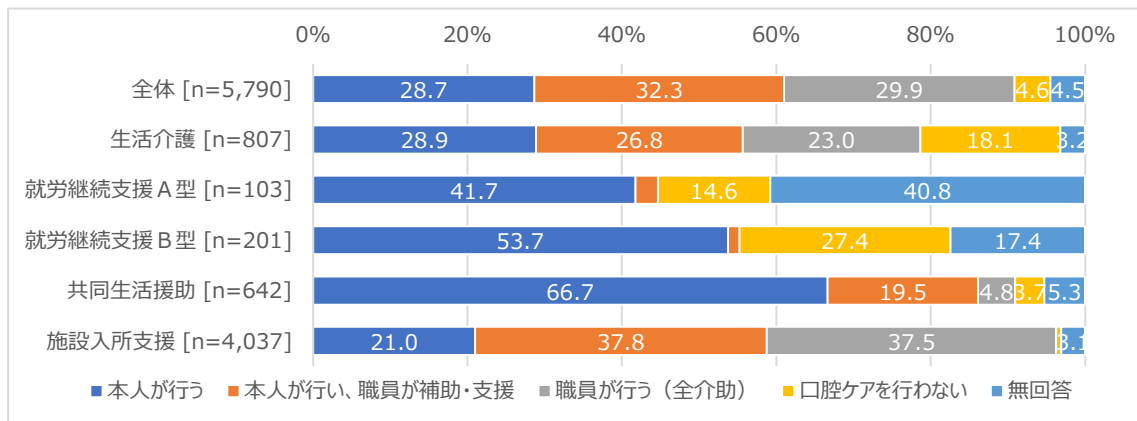
該当者の食事摂取の状況は、「自力摂取」が70.6%、「一部介助」が13.5%、「全介助」が10.9%となっている。

図表 48 該当者の個別状況_食事摂取の状況



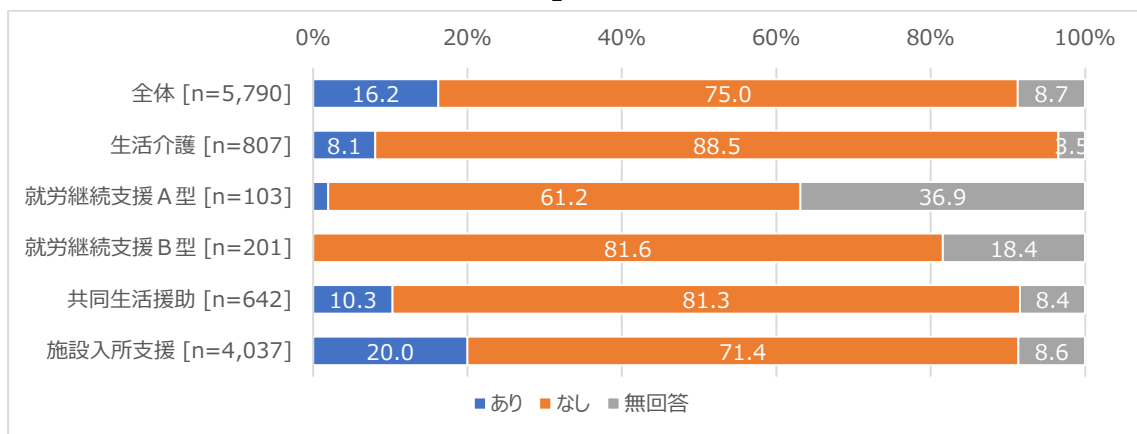
施設・事業所での該当者の口腔ケアの状況は、「本人が行い、職員が補助・支援」が 32.3%、「職員が行う（全介助）」が 29.9%、「本人が行う」が 28.7%となっている。

図表 49 該当者の個別状況_施設・事業所での口腔ケアの状況



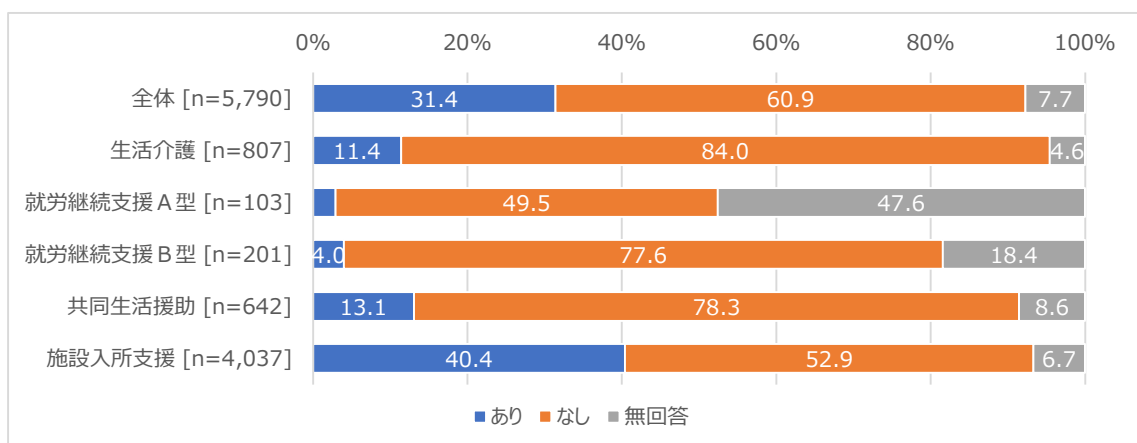
該当者の個別支援計画への口腔ケアの記載について聞いたところ、「なし」が 75.0%、「あり」が 16.2%となっている。

図表 50 該当者の個別状況_個別支援計画の口腔ケアの記載



該当者の個別支援計画への栄養ケアの記載については、「なし」が 60.9%、「あり」が 31.4%となっている。

図表 51 該当者の個別状況_個別支援計画の栄養ケアの記載

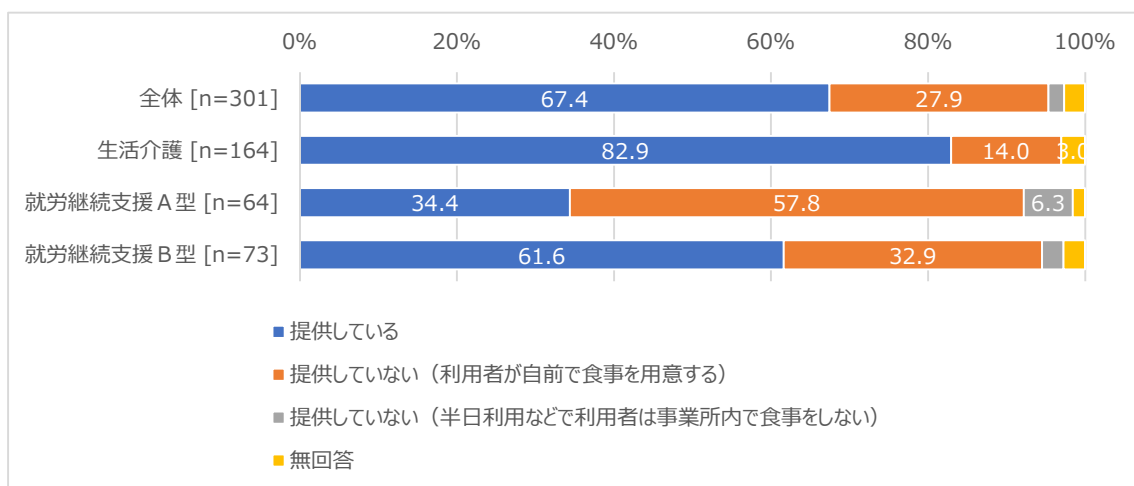


(3) 事業所における食事提供の状況について

①通所事業所の食事提供状況

通所事業所に食事提供状況を聞いたところ、「提供している」が67.4%、「提供していない（利用者が自前で食事を用意する）」が27.9%となっている。

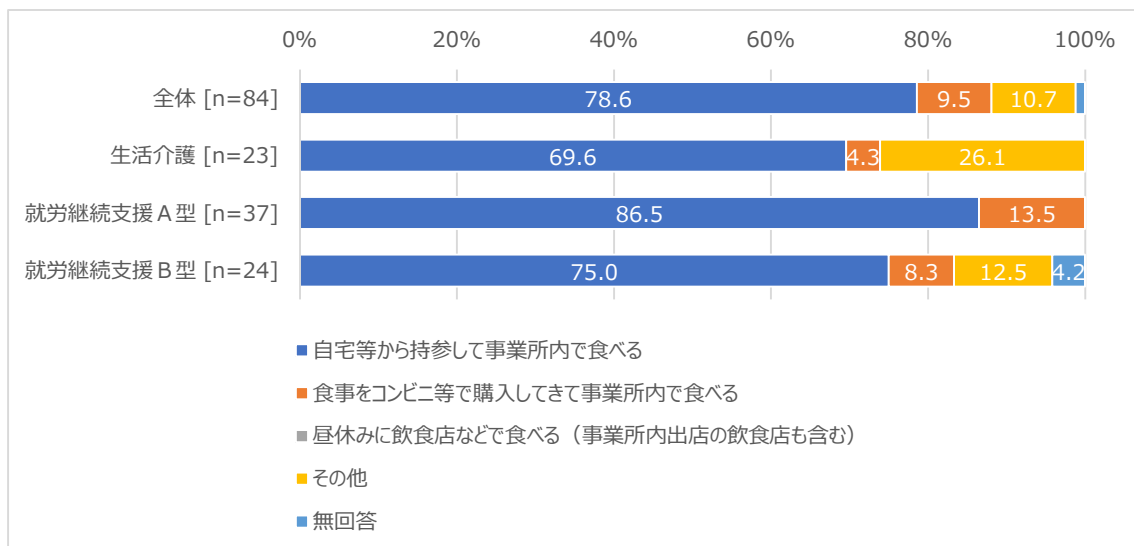
図表 52 通所事業所の食事提供状況



②食事を提供していない事業所の状況

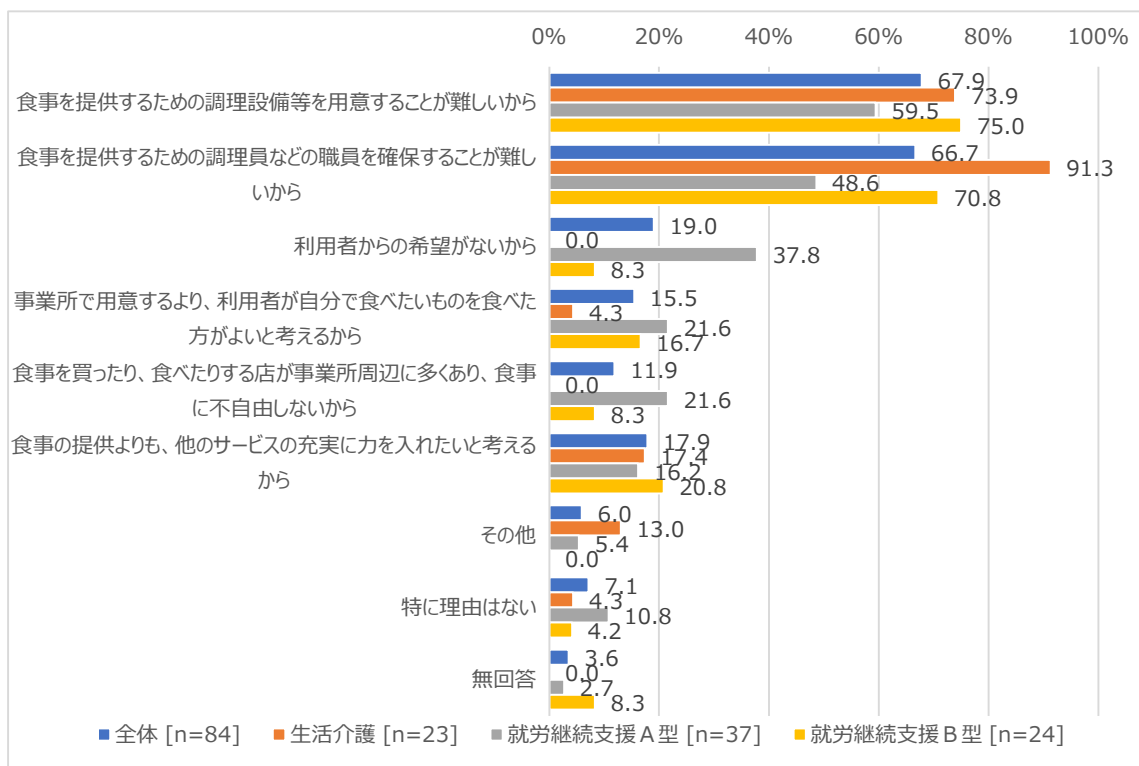
食事を提供していない事業所に、利用者の食事の方法について聞いたところ、「自宅等から持参して事業所内で食べる」が78.6%と多くなっている。

図表 53 利用者の食事の方法



食事を提供していない事業所に、事業所で食事を提供していない理由を聞いたところ、「食事を提供するための調理設備等を用意することが難しいから」が 67.9%、「食事を提供するための調理員などの職員を確保することが難しいから」が 66.7%となっている。

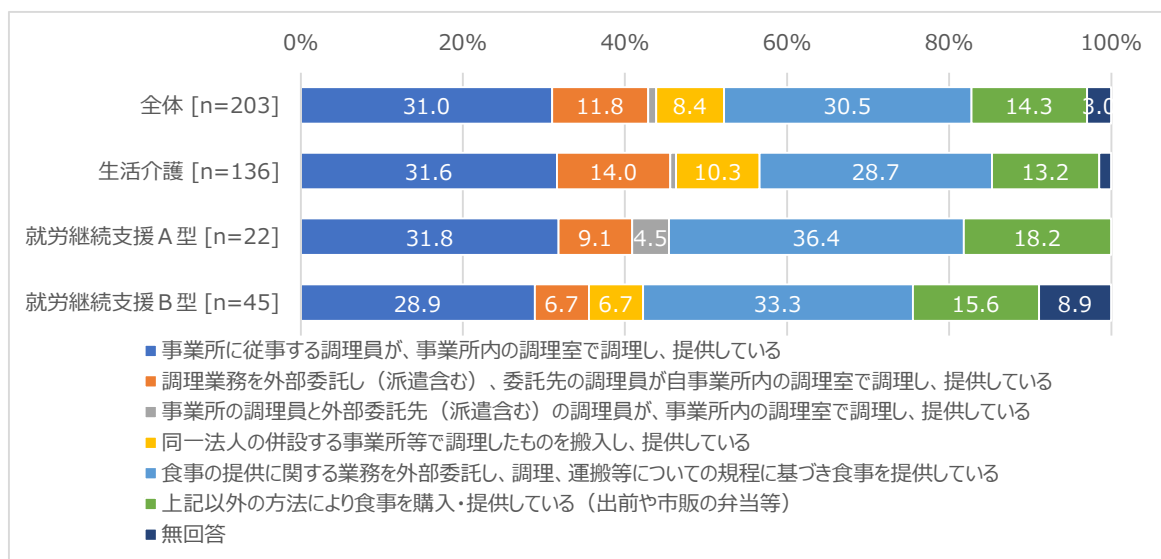
図表 54 事業所で食事を提供していない理由〔複数回答〕



③食事を提供している事業所の食事提供方法

食事を提供している事業所に、食事提供方法を聞いたところ、「事業所に従事する調理員が、事業所内の調理室で調理し、提供している」が 31.0%、「食事の提供に関する業務を外部委託し、調理、運搬等についての規程に基づき食事を提供している」が 30.5%、「上記以外の方法により食事を購入・提供している（出前や市販の弁当等）」が 14.3%となっている。

図表 55 食事を提供している事業所の食事提供方法

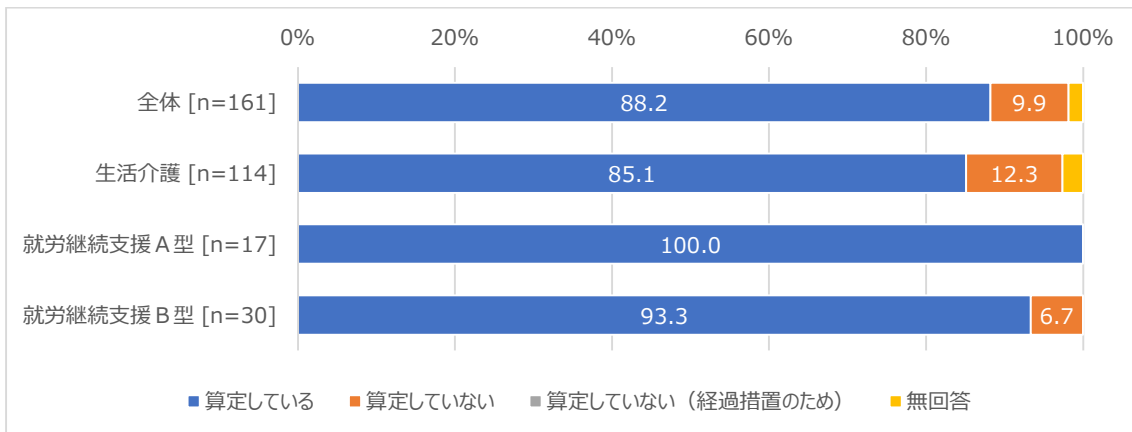


④自前調理・外部委託で食事提供している事業所の状況

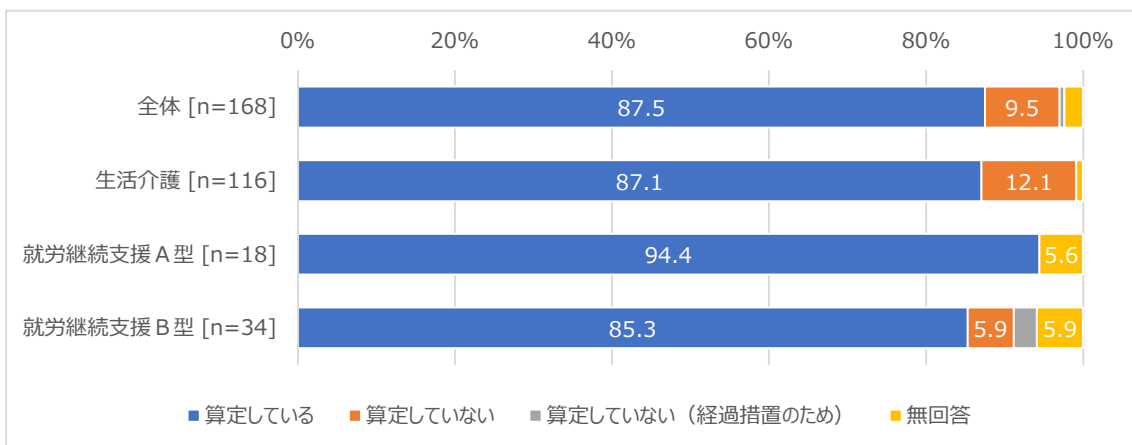
自前調理・外部委託で食事提供している事業所に、その状況を聞いた。

食事提供体制加算の算定状況については、令和5年7月は、「算定している」が88.2%、「算定していない」が9.9%となっている。令和6年7月は、「算定している」が87.5%、「算定していない」が9.5%となっている。令和7年7月は、「算定している」が90.5%、「算定していない」が8.9%となっている。

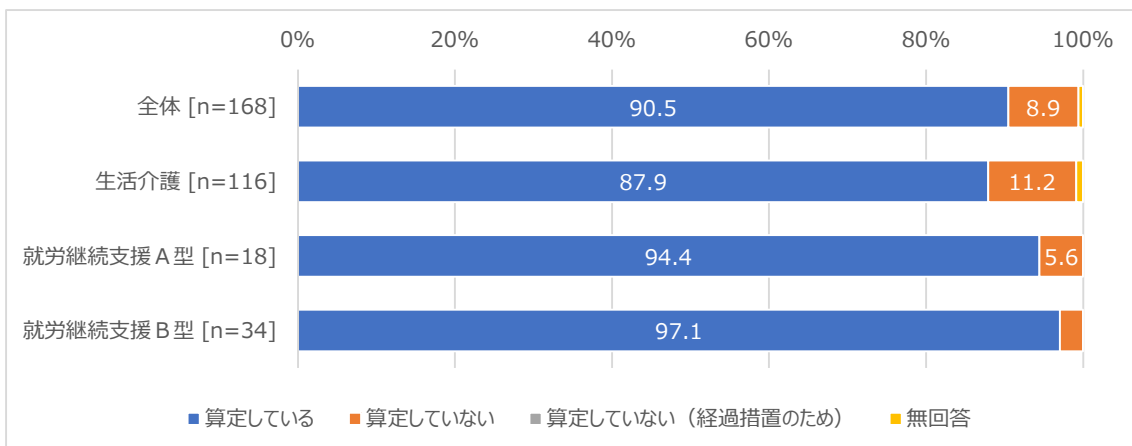
図表 56 食事提供体制加算の算定状況_令和5年7月



図表 57 食事提供体制加算の算定状況_令和6年7月

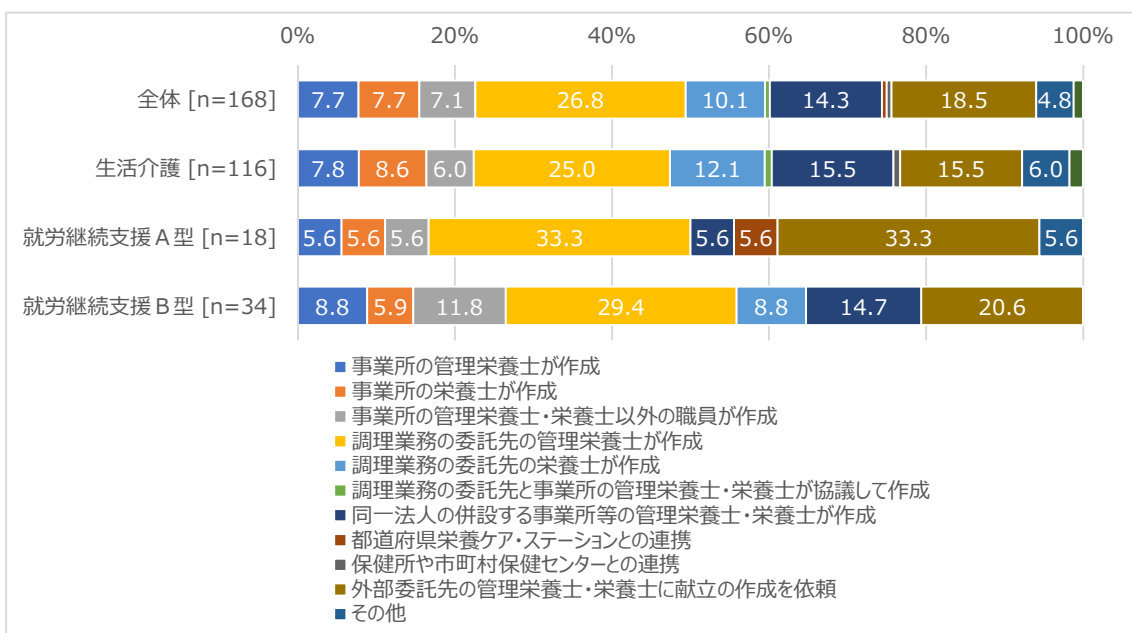


図表 58 食事提供体制加算の算定状況_令和7年7月



献立作成者は、「調理業務の委託先の管理栄養士が作成」が 26.8%、「外部委託先の管理栄養士・栄養士に献立の作成を依頼」が 18.5%、「同一法人の併設する事業所等の管理栄養士・栄養士が作成」が 14.3%等となっている。

図表 59 自前調理・外部委託で提供している事業所の献立作成者



本人負担分として食費を徴収している人数と徴収金額を聞いたところ、令和 7 年 7 月では、食事提供体制加算の対象外の者（一般所得者）で 1 人あたり金額 35,432 円、食事提供体制加算の対象者（低所得者等）で 1 人あたり金額 4,902 円となっている。1 人あたり金額は上昇傾向が見られる。

図表 60 本人負担分として食費を徴収している人数と徴収金額

(単位：人、円)			全体 [n=101]	生活介護 [n=78]	就労継続支 援 A 型 [n=9]	就労継続支 援 B 型 [n=14]
食事提供体制加算の 対象外の者（一般所 得者）	令和 5 年 7 月	徴収人数（実人数）	2.2	2.6	0.7	1.1
		徴収金額（総額）	52,052	56,476	10,900	32,820
		1 人あたり金額	23,789	22,136	16,350	28,718
食事提供体制加算の 対象者（低所得者 等）	令和 5 年 7 月	徴収人数（実人数）	17.5	18.7	14.1	13.5
		徴収金額（総額）	75,923	81,735	60,131	56,583
		1 人あたり金額	4,331	4,382	4,261	4,200
(単位：人、円)	令和 6 年 7 月	徴収人数（実人数）	2.2	2.6	0.7	0.9
		徴収金額（総額）	75,282	83,946	12,000	28,950
		1 人あたり金額	34,424	32,646	18,000	33,775
食事提供体制加算の 対象者（低所得者 等）	令和 6 年 7 月	徴収人数（実人数）	17.1	18.2	12.1	13.3
		徴収金額（総額）	79,089	86,547	52,859	55,073
		1 人あたり金額	4,632	4,745	4,364	4,147
(単位：人、円)	令和 7 年 7 月	徴収人数（実人数）	2.4	2.9	0.4	0.9
		徴収金額（総額）	85,037	101,587	8,200	17,363
		1 人あたり金額	35,432	35,101	18,450	19,843
食事提供体制加算の 対象者（低所得者 等）	令和 7 年 7 月	徴収人数（実人数）	17.1	18.2	12.7	13.4
		徴収金額（総額）	83,690	93,658	54,723	52,621
		1 人あたり金額	4,902	5,139	4,320	3,916

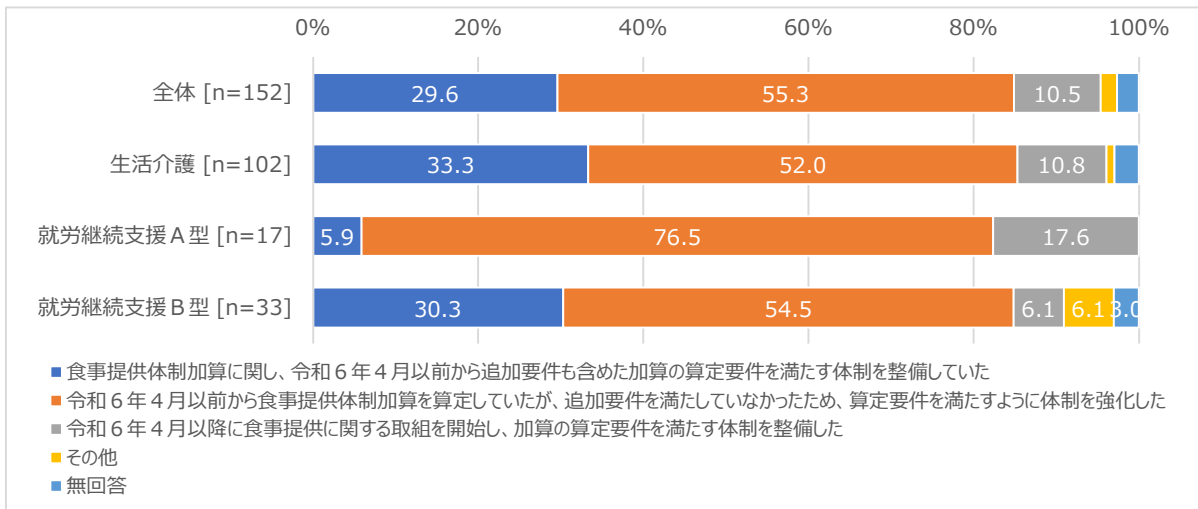
注) サービス別で標本数の少ない区分は、参考値として掲載するものである。開設時期により令和 7 年のみ回答の事業所など、各年の集計標本が異なっていることから、標本数の少ない区分では集計値が大きく変動する場合がある。

⑤食事提供体制加算を算定している事業所の状況

令和7年7月に食事提供体制加算を算定している事業所に、加算算定の状況を聞いた。

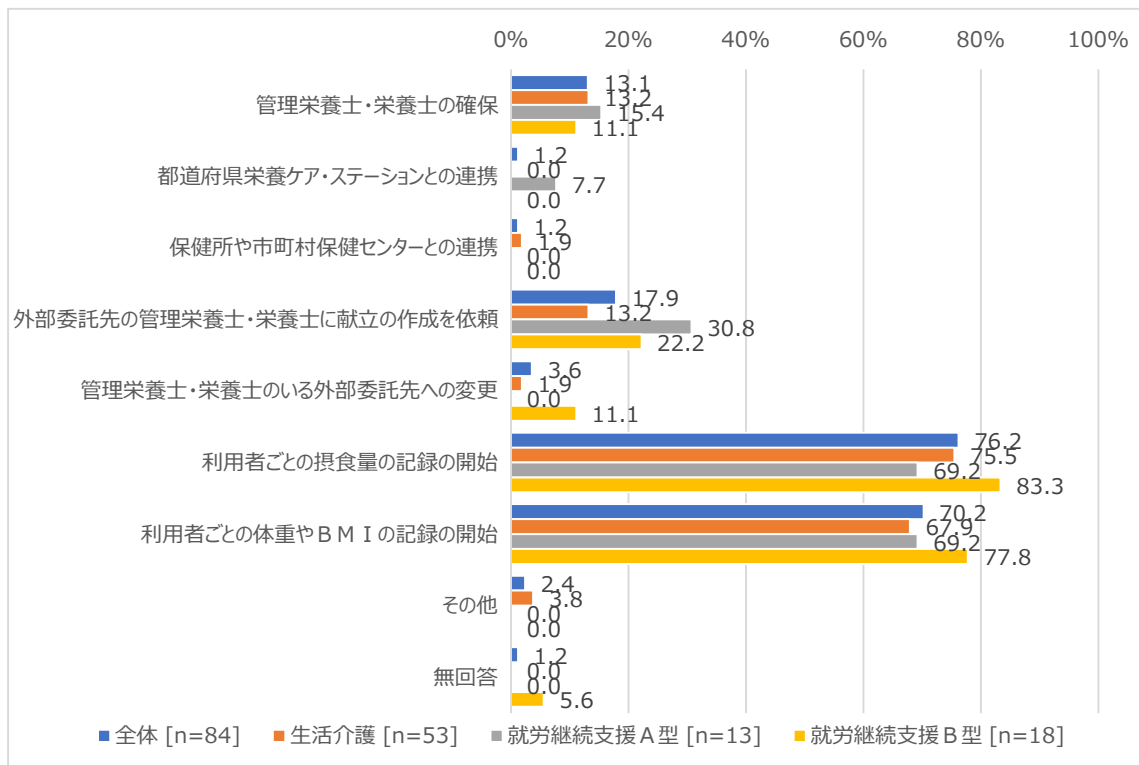
令和6年4月以降、食事提供体制加算の算定要件に追加された、「管理栄養士等が献立作成に関与または献立を確認」「利用者ごとの摂食量の記録」「利用者ごとの体重やBMIの記録」の3要件を含めた算定経緯としては、「令和6年4月以前から食事提供体制加算を算定していたが、追加要件を満たしていなかったため、算定要件を満たすように体制を強化した」が55.3%と多くなっている。

図表 61 食事提供体制加算の追加要件を含めた算定経緯



食事提供体制加算の算定経緯で体制を強化したと回答した事業所に、追加の算定要件を満たすための取り組みについて聞いたところ、「利用者ごとの摂食量の記録の開始」が76.2%、「利用者ごとの体重やBMIの記録の開始」が70.2%となっている。

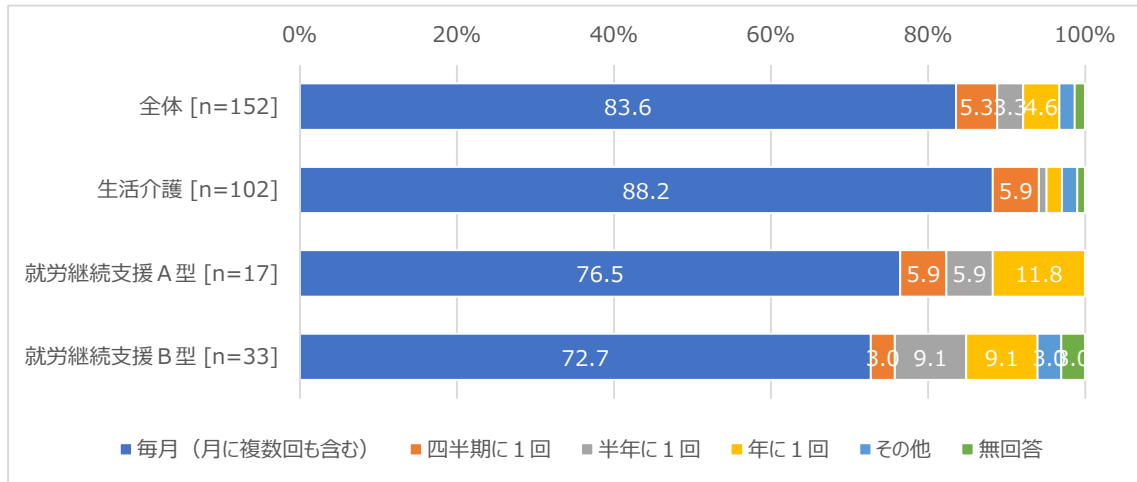
図表 62 追加の算定要件を満たすための取り組み〔複数回答〕



⑥ 「管理栄養士等が献立作成に関与または献立を確認」要件の状況

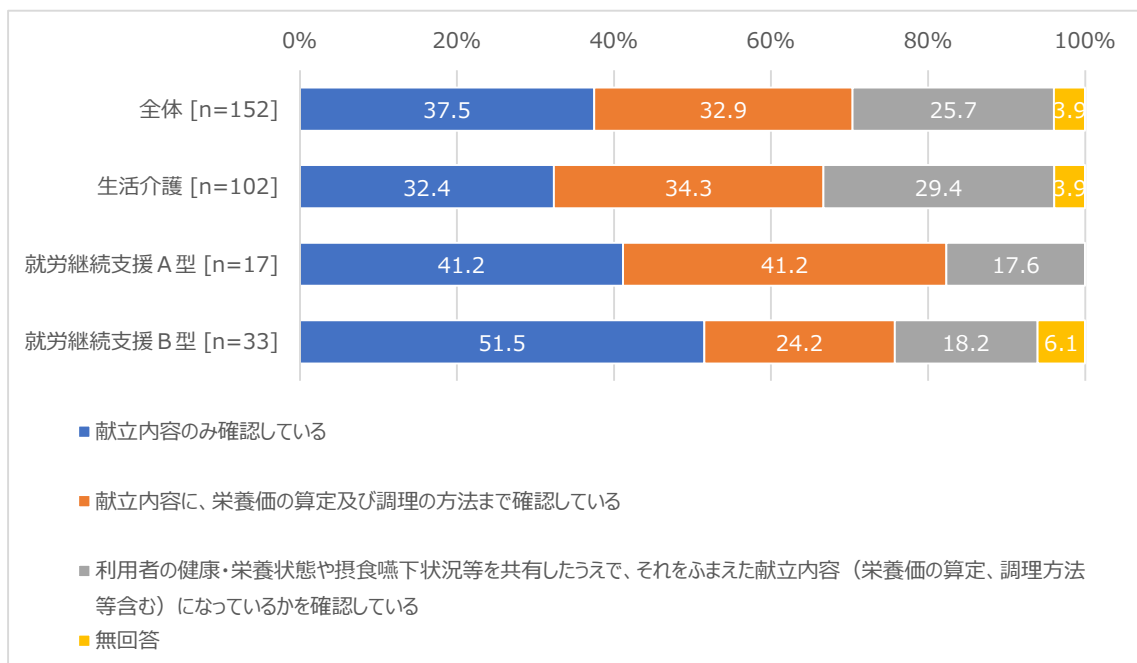
加算要件の「管理栄養士等が献立作成に関与または献立を確認」要件について、管理栄養士等が「献立作成に関与または献立を確認」する頻度を聞いたところ、「毎月（月に複数回も含む）」が83.6%となっている。

図表 63 管理栄養士等が「献立作成に関与または献立を確認」する頻度



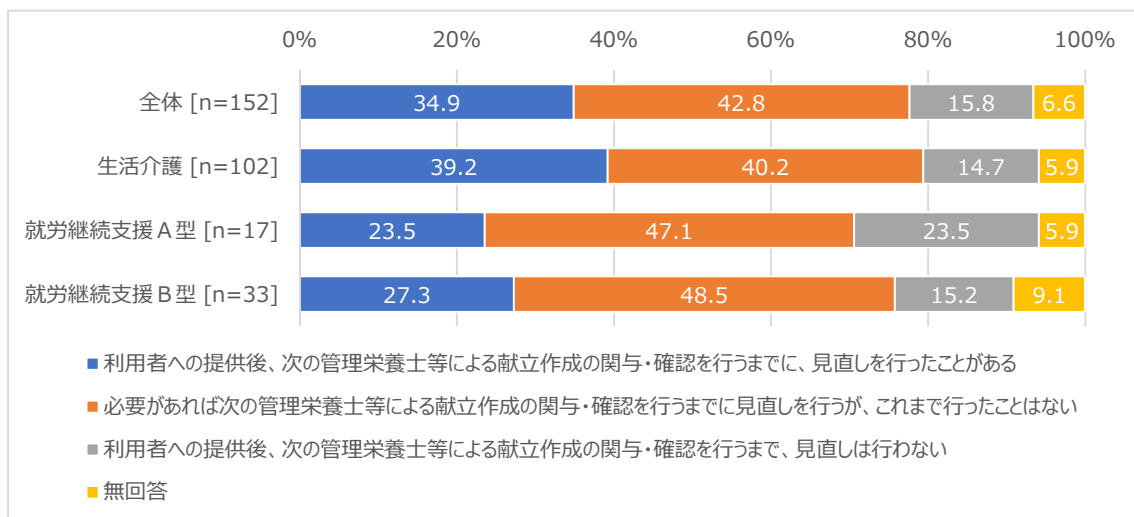
管理栄養士等が「献立作成に関与または献立を確認」する内容としては、「献立内容のみ確認している」が37.5%、「献立内容に、栄養価の算定及び調理の方法まで確認している」が32.9%、「利用者の健康・栄養状態や摂食嚥下状況等を共有したうえで、それをふまえた献立内容（栄養価の算定、調理方法等含む）になっているかを確認している」が25.7%となっている。

図表 64 管理栄養士等が「献立作成に関与または献立を確認」する内容



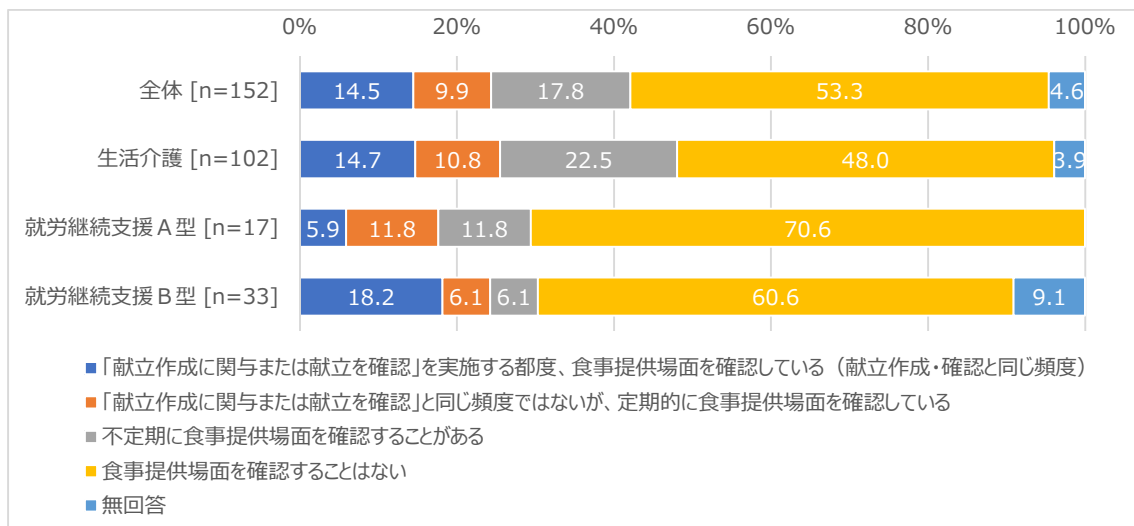
管理栄養士等が「献立作成に関与または献立を確認」した献立の、利用者への提供後の見直し状況について聞いたところ、「必要があれば次の管理栄養士等による献立作成の関与・確認を行うまでに見直しを行うが、これまで行ったことはない」が 42.8%、「利用者への提供後、次の管理栄養士等による献立作成の関与・確認を行うまでに、見直しを行ったことがある」が 34.9%、「利用者への提供後、次の管理栄養士等による献立作成の関与・確認を行うまで、見直しは行わない」が 15.8%となっている。

図表 65 管理栄養士等が「献立作成に関与または献立を確認」した献立の利用者への提供後の見直し



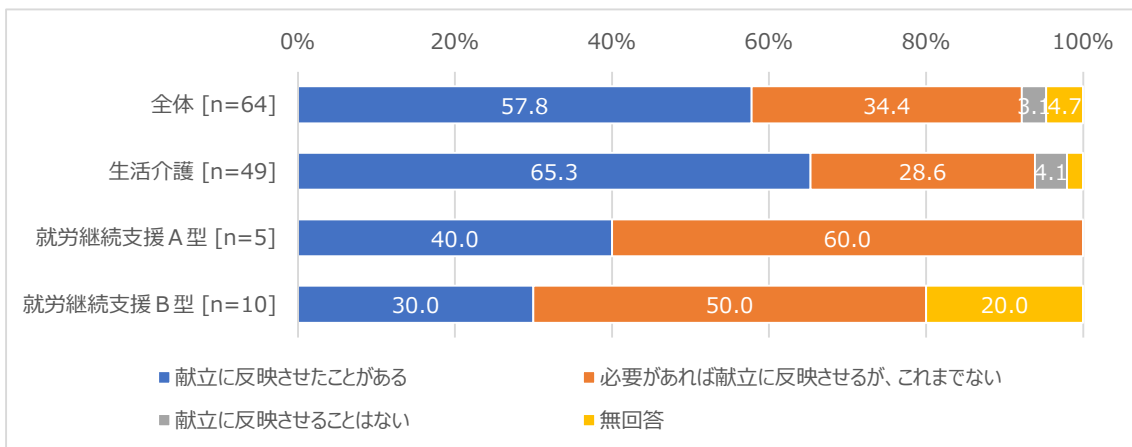
「献立作成に関与または献立を確認」した管理栄養士等が利用者に食事を提供している場面を確認することの有無について聞いたところ、「食事提供場面を確認することはない」が 53.3%、「不定期に食事提供場面を確認することがある」が 17.8%、「献立作成に関与または献立を確認」を実施する都度、食事提供場面を確認している（献立作成・確認と同じ頻度）」が 14.5%となっている。

図表 66 「献立作成に関与または献立を確認」した管理栄養士等が食事提供場面を確認することの有無



管理栄養士等が食事提供場面を確認した結果の献立への反映について聞いたところ、「献立に反映させたことがある」が 57.8%、「必要があれば献立に反映させるが、これまでない」が 34.4%となっている。

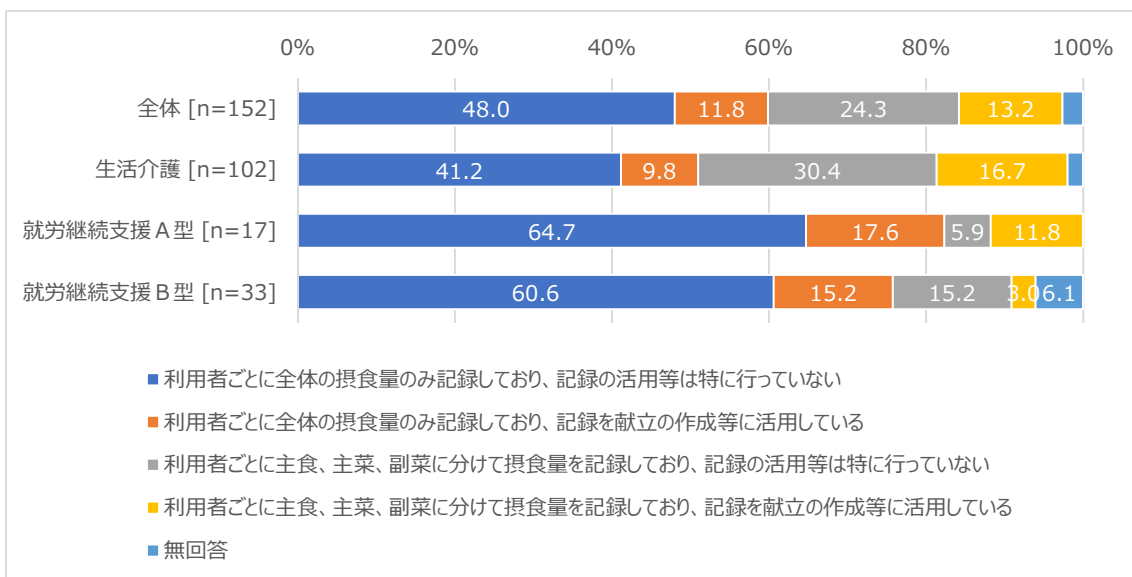
図表 67 管理栄養士等が食事提供場面を確認した結果の献立への反映



⑦ 「利用者ごとの摂食量の記録」要件の状況

加算要件の「利用者ごとの摂食量の記録」要件で実施していることを聞いたところ、「利用者ごとに全体の摂食量のみ記録しており、記録の活用等は特に行っていない」が 48.0%、「利用者ごとに主食、主菜、副菜に分けて摂食量を記録しており、記録の活用等は特に行っていない」が 24.3%となっている。

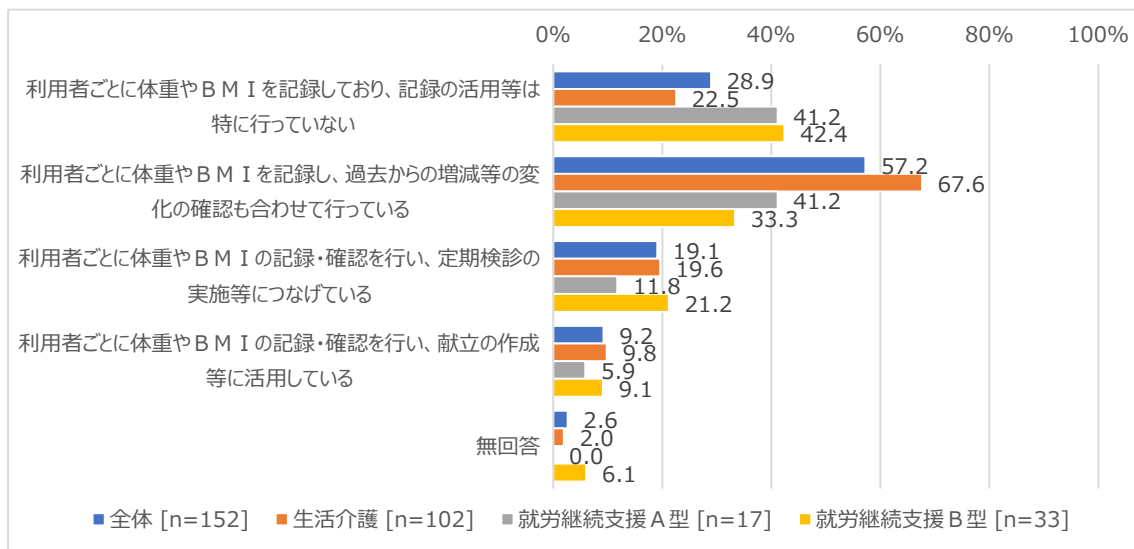
図表 68 「利用者ごとの摂食量の記録」要件で実施していること



⑧ 「利用者ごとの体重やBMIの記録」要件の状況

加算要件の「利用者ごとの体重やBMIの記録」要件で実施していることを聞いたところ、「利用者ごとに体重やBMIを記録し、過去からの増減等の変化の確認も合わせて行っている」が57.2%、「利用者ごとに体重やBMIを記録しており、記録の活用等は特に行っていない」が28.9%となっている。

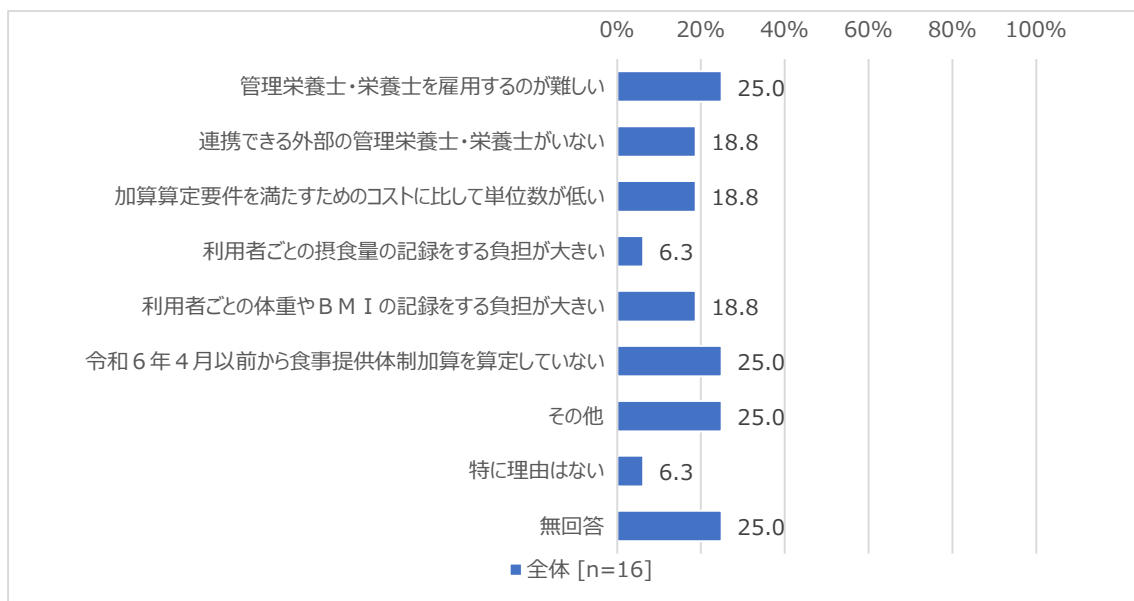
図表 69 「利用者ごとの体重やBMIの記録」要件で実施していること〔複数回答〕



⑨ 食事提供体制加算を算定していない理由

食事提供体制加算を算定していない事業所に、その理由を聞いたところ、「管理栄養士・栄養士を雇用するのが難しい」「令和6年4月以前から食事提供体制加算を算定していない」がいずれも25.0%、「連携できる外部の管理栄養士・栄養士がない」「加算算定要件を満たすためのコストに比して単位数が低い」「利用者ごとの体重やBMIの記録をする負担が大きい」がいずれも18.8%となっている。

図表 70 食事提供体制加算を算定していない理由〔複数回答〕

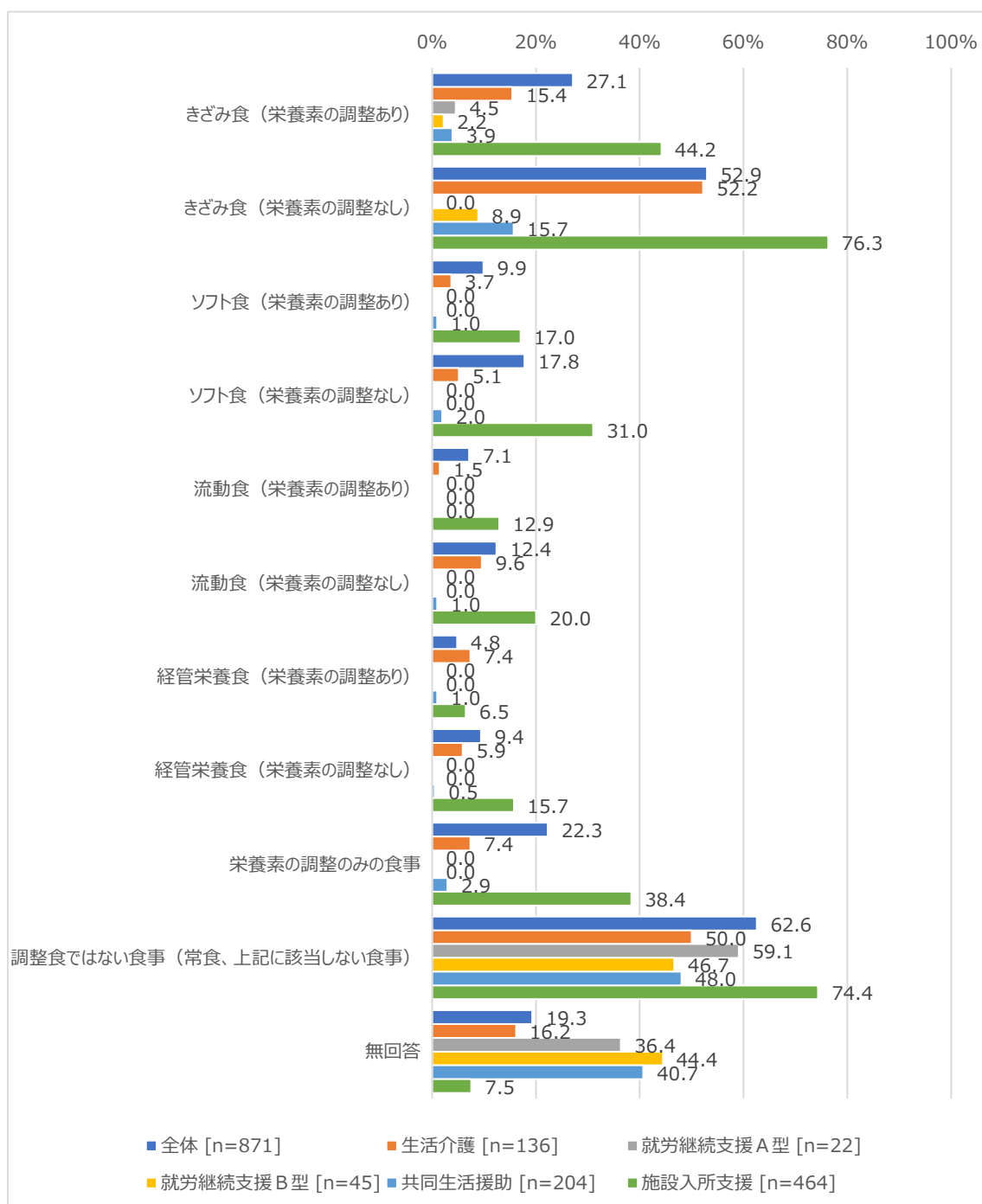


(4) 施設・事業所における栄養ケア・口腔ケアの状況について

①調整食の提供実績

利用者への食形態や栄養素を調整した食事（調整食）の提供実績について聞いたところ、全体では「きざみ食（栄養素の調整なし）」を提供しているところが 52.9%、「きざみ食（栄養素の調整あり）」を提供しているところが 27.1%等となっている。

図表 71 調整食の提供実績〔複数回答〕



1事業所あたりの提供人数は、「きざみ食（栄養素の調整なし）」が7.6人等となっている。

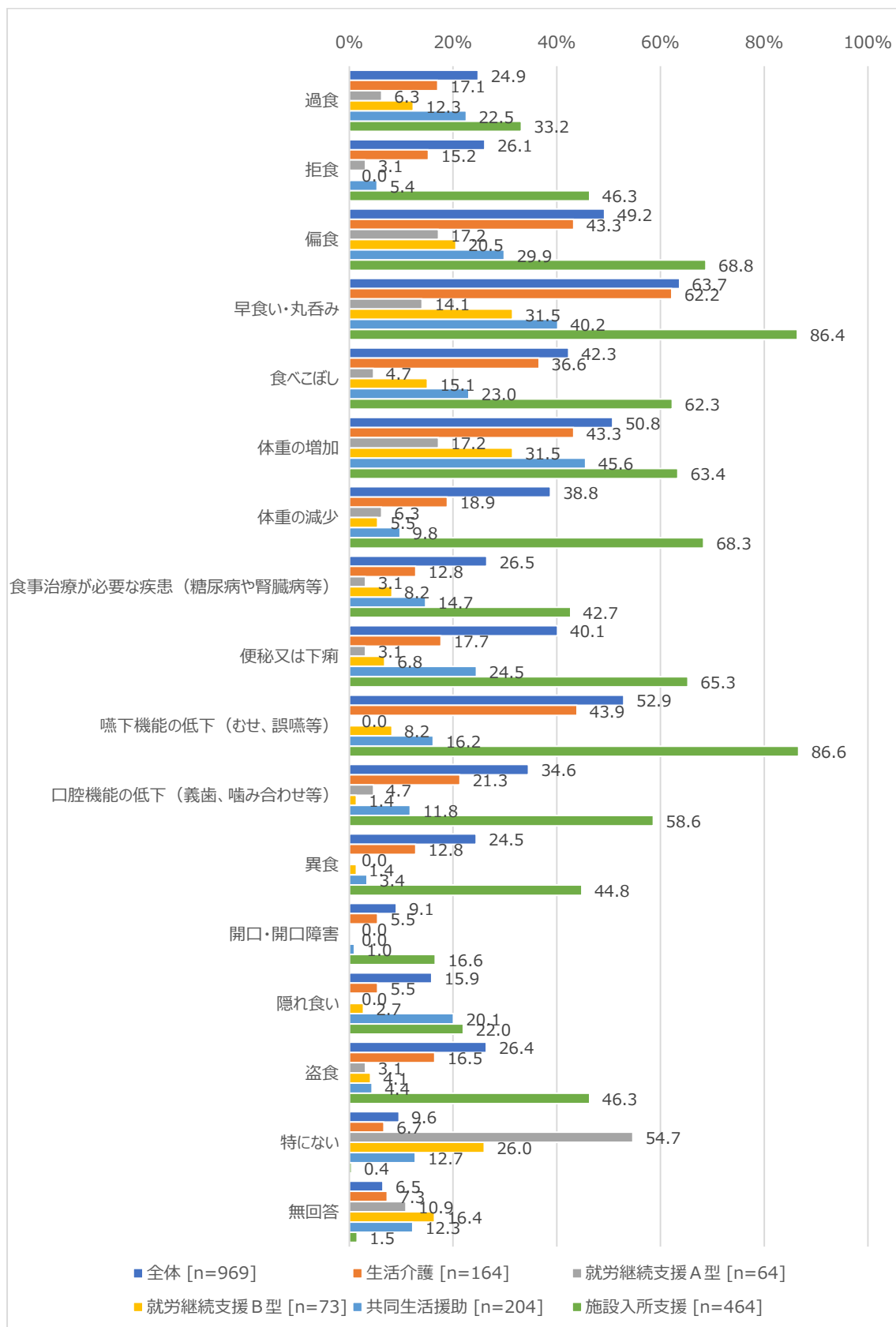
図表 72 調整食の提供実績(提供人数)

(単位：人)	全体 [n=703]	生活介護 [n=114]	就労継続 支援 A型 [n=14]	就労継続 支援 B型 [n=25]	共同生活 援助 [n=121]	施設入所 支援 [n=429]
きざみ食（栄養素の調整あり）	2.6	0.9	0.4	0.0	0.2	4.0
きざみ食（栄養素の調整なし）	7.6	3.3	0.0	0.2	0.7	11.5
ソフト食（栄養素の調整あり）	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.5
ソフト食（栄養素の調整なし）	1.1	0.3	0.0	0.0	0.0	1.7
流動食（栄養素の調整あり）	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4
流動食（栄養素の調整なし）	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.9
経管栄養食（栄養素の調整あり）	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.2
経管栄養食（栄養素の調整なし）	0.5	0.3	0.0	0.0	0.0	0.8
栄養素の調整のみの食事	2.3	0.5	0.0	0.0	0.3	3.5
調整食ではない食事（常食、上記に該当しない食事）	21.4	17.2	19.1	24.6	12.1	25.1

②利用者の食行動や状態等で困ったことや気になること

利用者の食行動や状態等で困ったことや気になることとしては、全体では「早食い・丸呑み」が 63.7%、「嚥下機能の低下（むせ、誤嚥等）」が 52.9%、「体重の増加」が 50.8%等となっている。

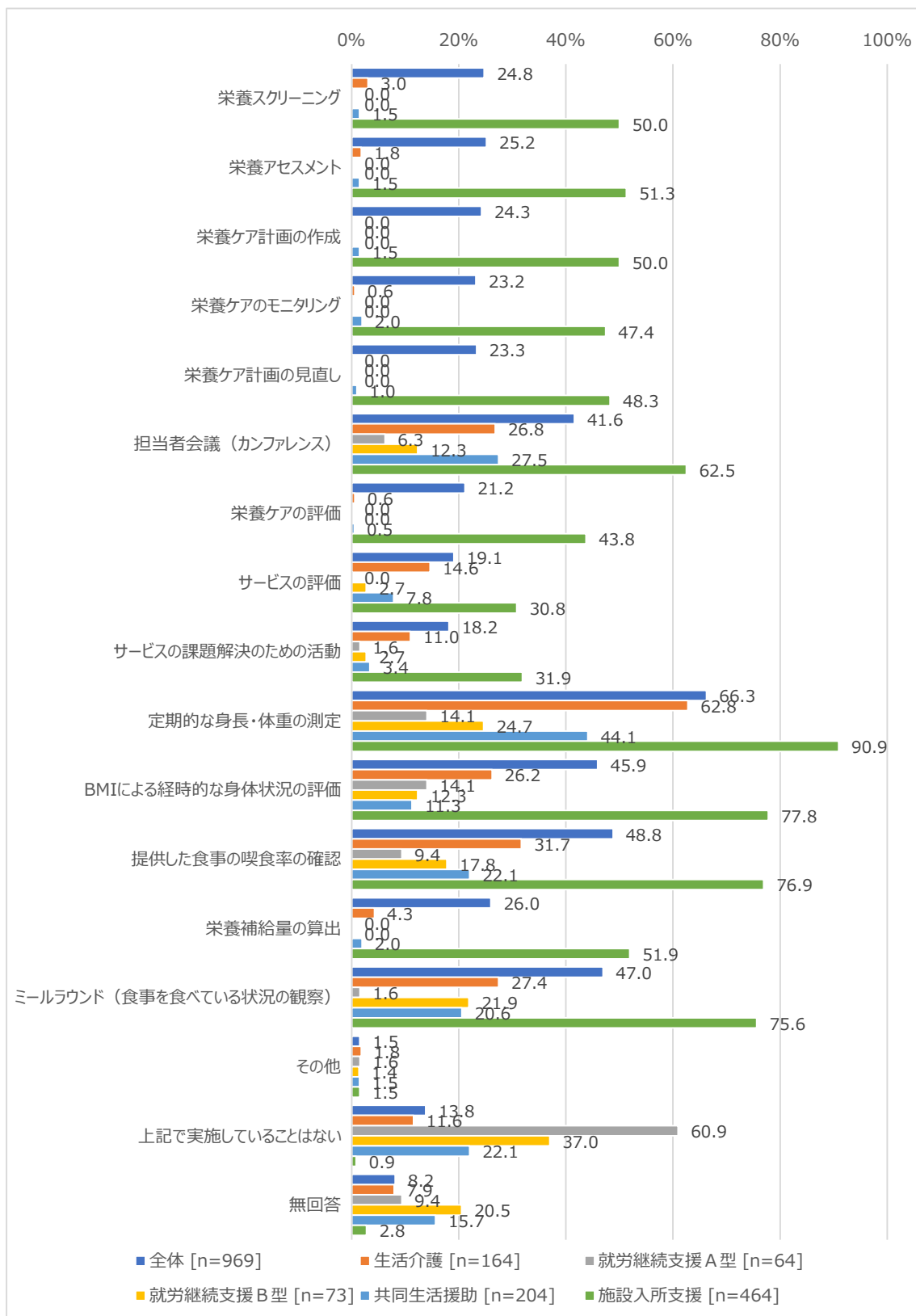
図表 73 利用者の食行動や状態等で困ったことや気になること〔複数回答〕



③利用者に対する栄養ケア等に関し実施していること

利用者に対する栄養ケア等に関し実施していることは、全体では「定期的な身長・体重の測定」が66.3%、「提供した食事の喫食率の確認」が48.8%、「ミールラウンド（食事を食べている状況の観察）」が47.0%等となっている。

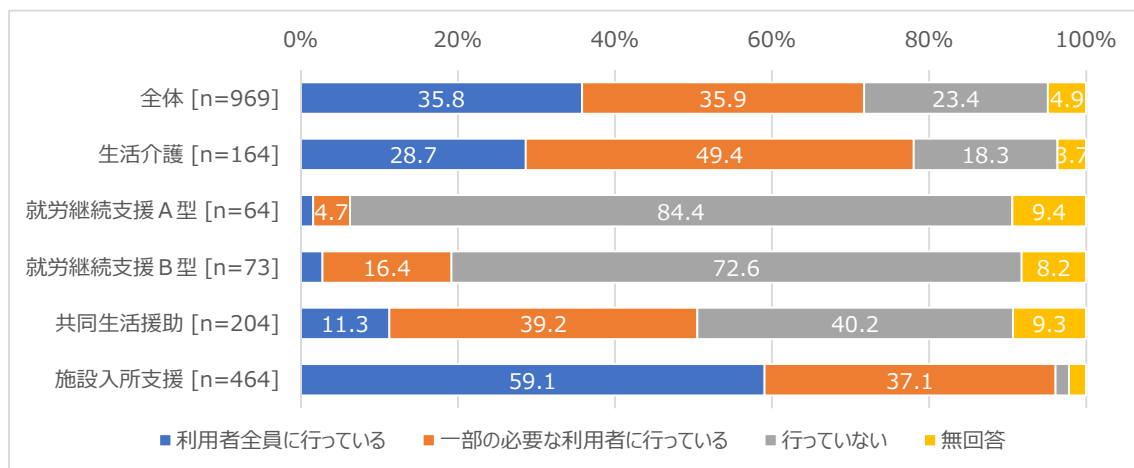
図表 74 利用者に対する栄養ケア等に関し実施していること〔複数回答〕



④利用者に対する口腔ケアの支援（食事後の口腔清掃の支援等）

利用者に対する口腔ケアの支援（食事後の口腔清掃の支援等）について聞いたところ、「一部の必要な利用者に行っている」が35.9%、「利用者全員に行っている」が35.8%、「行っていない」が23.4%となっている。

図表 75 利用者に対する口腔ケアの支援(食事後の口腔清掃の支援等)



⑤日常の口腔清掃の実施状況

口腔ケアの支援を行っている施設・事業所に、日常の口腔清掃の実施状況別の利用者数、1日に実施する口腔清掃の1人あたり平均回数を聞いたところ、利用者数（実人数）は、平均で「本人が自分で口腔清掃を行う」が9.0人、「本人が自分で口腔清掃を行うが、一部、職員が補助・支援する」が14.7人、「職員が全介助で口腔清掃を行う」が14.3人となっている。

図表 76 日常の口腔清掃の実施状況別実人数

(単位：人)	全体 [n=580]	生活介護 [n=100]	就労継続支援 A型 [n=2]	就労継続支援 B型 [n=10]	共同生活援助 [n=79]	施設入所支援 [n=389]
本人が自分で口腔清掃を行う	9.0	5.9	7.0	11.8	8.3	9.9
本人が自分で口腔清掃を行うが、一部、職員が補助・支援する	14.7	6.4	14.5	1.9	5.9	19.0
職員が全介助で口腔清掃を行う	14.3	6.1	0.0	1.3	1.8	19.4
口腔清掃を行わない	0.9	3.7	0.0	5.9	0.0	0.2
合計	39.0	22.1	21.5	20.9	16.0	48.5

1日に実施する1人あたり平均回数は、「本人が自分で口腔清掃を行う」では平均2.5回、「本人が自分で口腔清掃を行うが、一部、職員が補助・支援する」では平均2.3回、「職員が全介助で口腔清掃を行う」では平均2.6回となっている。

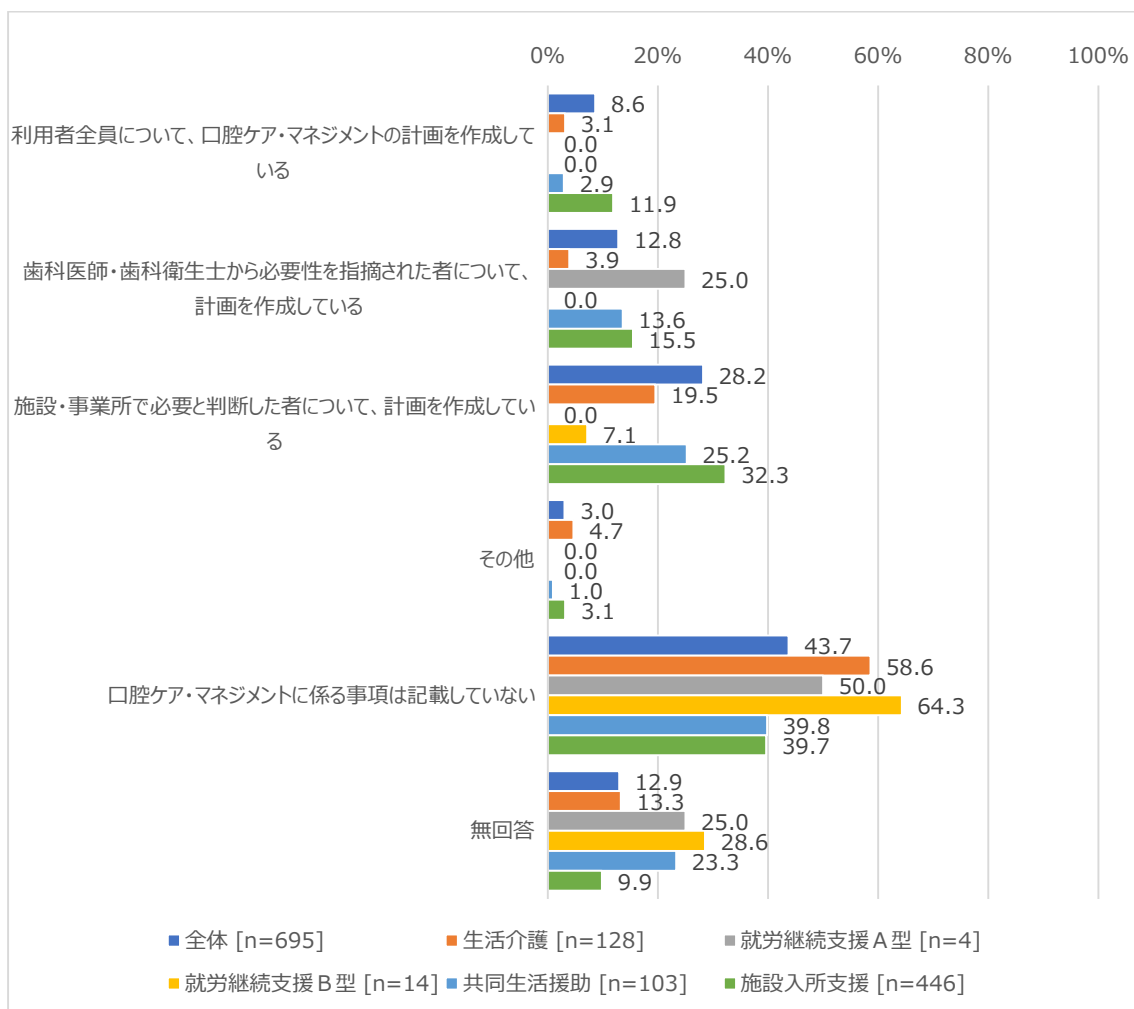
図表 77 1日に実施する口腔清掃の1人あたり平均回数

(単位：回)	全体 [n=335]	生活介護 [n=58]	就労継続支援 A型 [n=1]	就労継続支援 B型 [n=6]	共同生活援助 [n=43]	施設入所支援 [n=227]
本人が自分で口腔清掃を行う	2.5	1.5	1.0	1.0	2.4	2.8
本人が自分で口腔清掃を行うが、一部、職員が補助・支援する	2.3	1.2	1.0	1.3	2.0	2.7
職員が全介助で口腔清掃を行う	2.6	1.7	-	1.0	2.1	2.8

⑥利用者の個別支援計画への口腔ケア・マネジメントに係る事項の記載

利用者の個別支援計画への口腔ケア・マネジメントに係る事項の記載状況は、「口腔ケア・マネジメントに係る事項は記載していない」が43.7%、「施設・事業所で必要と判断した者について、計画を作成している」が28.2%となっている。

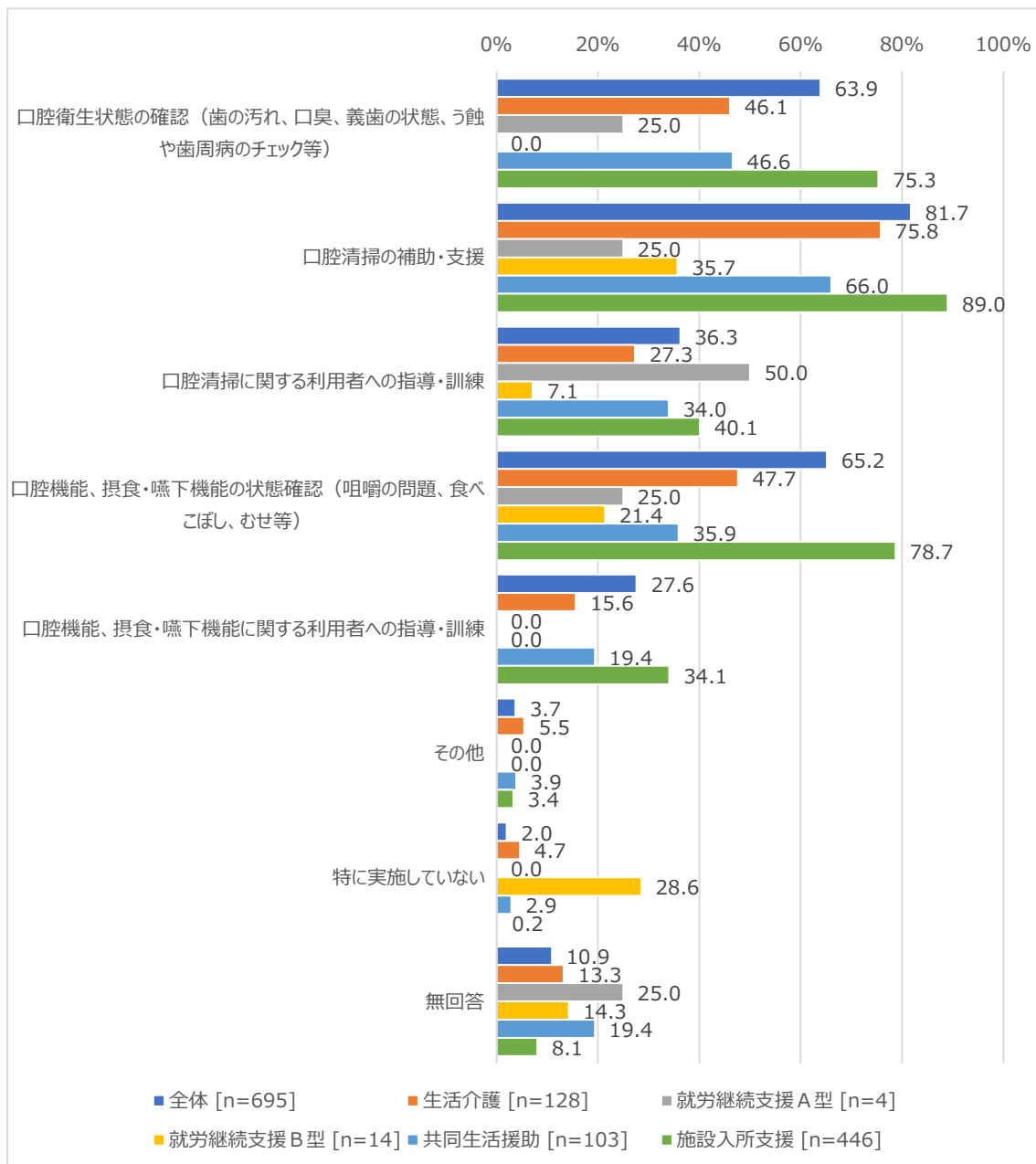
図表 78 利用者の個別支援計画への口腔ケア・マネジメントに係る事項の記載〔複数回答〕



⑦利用者の日常の口腔ケアに関し職員が実施していること

利用者の日常の口腔ケアに関し職員が実施していることは、「口腔清掃の補助・支援」が81.7%、「口腔機能、摂食・嚥下機能の状態確認（咀嚼の問題、食べこぼし、むせ等）」が65.2%、「口腔衛生状態の確認（歯の汚れ、口臭、義歯の状態、う蝕や歯周病のチェック等）」が63.9%等となっている。

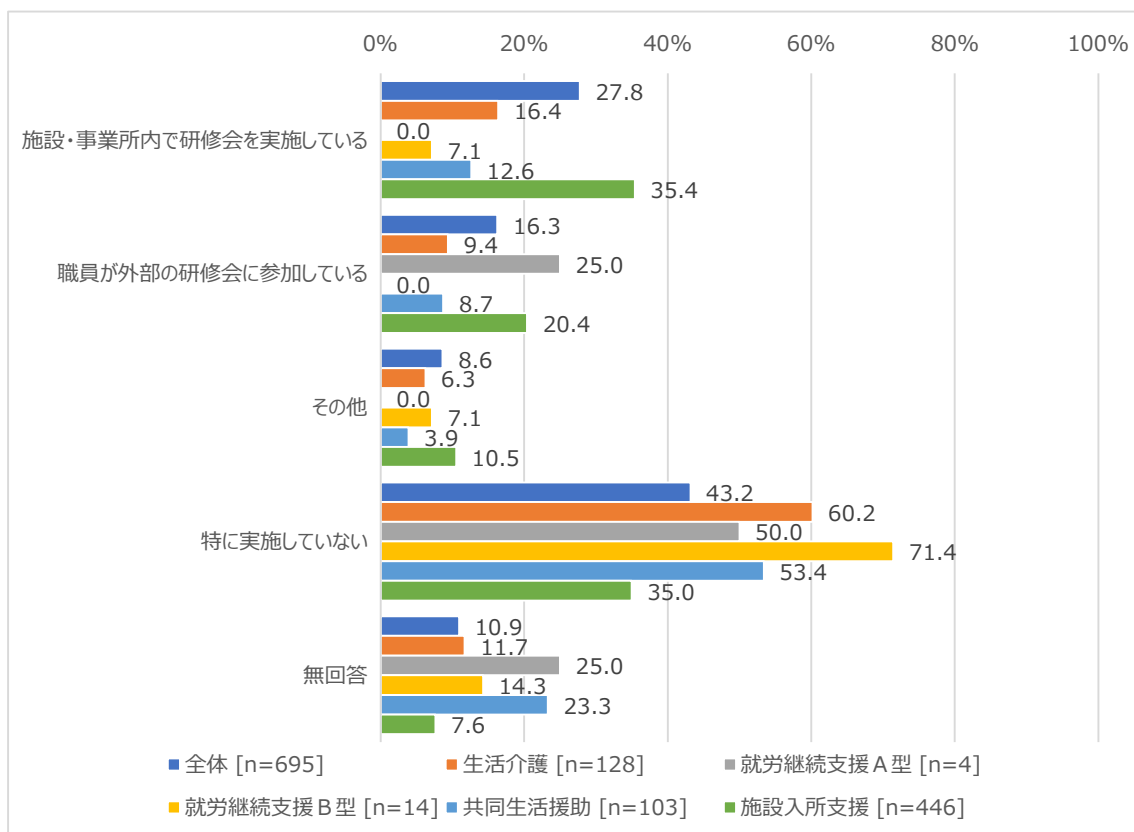
図表 79 利用者の日常の口腔ケアに関し職員が実施していること〔複数回答〕



⑧職員に対する口腔衛生等に関する研修について取り組んでいること

職員に対する口腔衛生等に関する研修について取り組んでいることは、「施設・事業所内で研修会を実施している」が27.8%、「職員が外部の研修会に参加している」が16.3%等となっている。一方、「特に実施していない」は43.2%となっている。

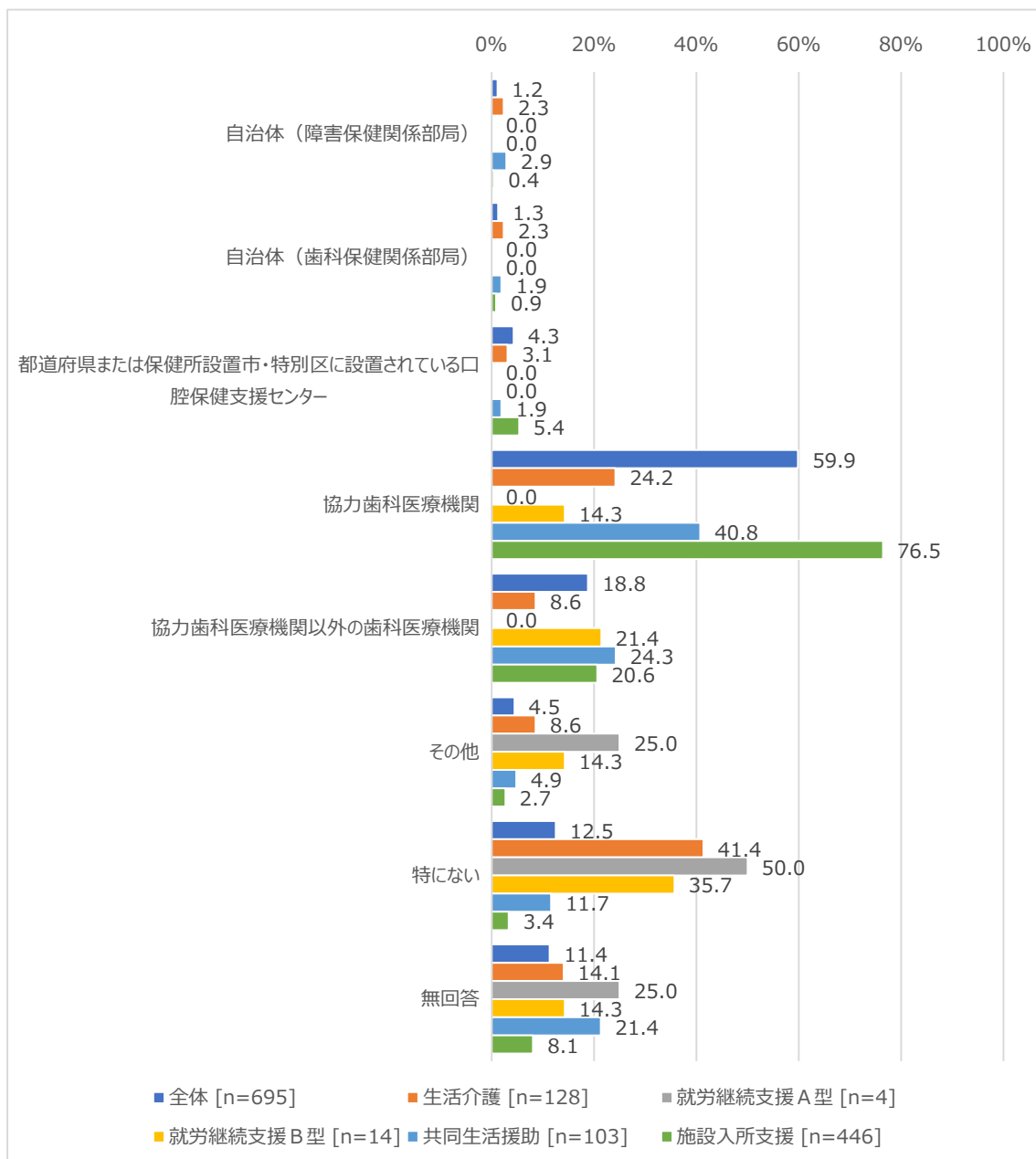
図表 80 職員に対する口腔衛生等に関する研修について取り組んでいること〔複数回答〕



⑨利用者の口腔衛生等に関する取組についての連携・相談先

利用者の口腔衛生等に関する取組についての連携・相談先を聞いたところ、「協力歯科医療機関」が59.9%と多くなっている。

図表 81 利用者の口腔衛生等に関する取組についての連携・相談先〔複数回答〕

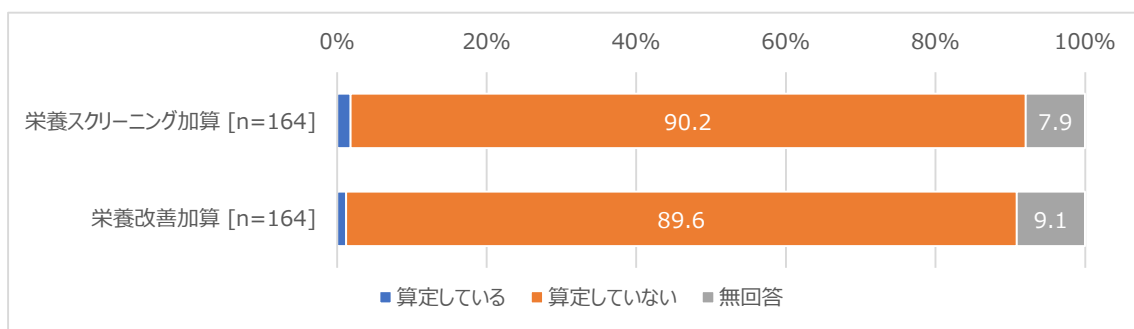


(5) 加算算定等の状況について

①生活介護事業所の加算算定状況

生活介護事業所に、栄養スクリーニング加算、栄養改善加算の加算算定状況を聞いたところ、栄養スクリーニング加算は、「算定していない」が90.2%、「算定している」が1.8%となっている。栄養改善加算は、「算定していない」が89.6%、「算定している」が1.2%となっている。

図表 82 生活介護事業所の加算算定状況



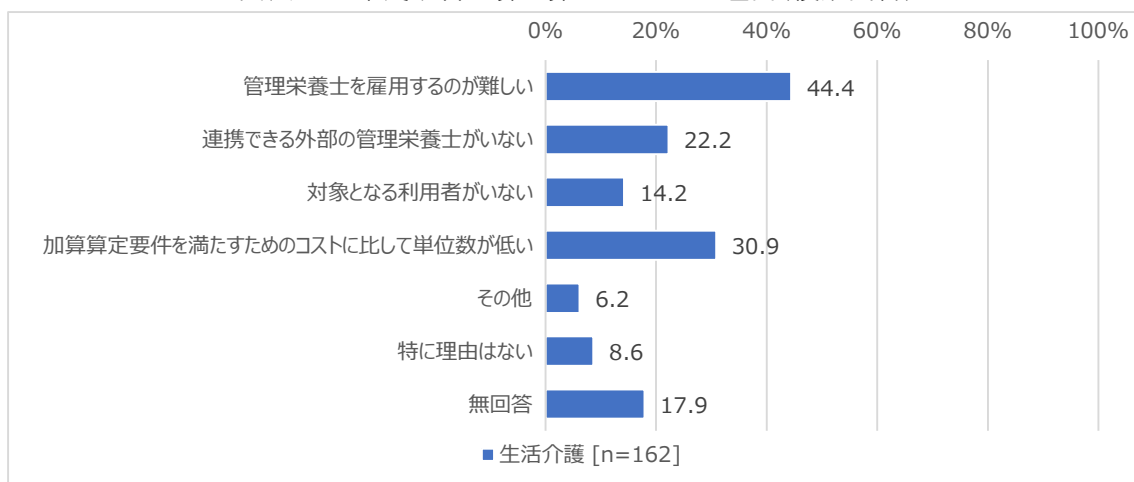
②栄養改善加算の算定経緯等

栄養改善加算を算定している事業所（回答数2か所）に、栄養改善加算を算定するようになった経緯を聞いたところ、いずれも、「令和6年4月以前から利用者の栄養ケア・マネジメントに関する取組は行っていたが、加算の算定要件を満たしていなかったため、算定要件を満たすように体制を強化した」の回答だった。また、栄養改善加算の算定要件を満たすために取り組んだことは、いずれも「管理栄養士の確保」の回答だった。

③栄養改善加算を算定していない理由

栄養改善加算を算定していない事業所に、その理由を聞いたところ、「管理栄養士を雇用するのが難しい」が44.4%、「加算算定要件を満たすためのコストに比して単位数が低い」が30.9%、「連携できる外部の管理栄養士がない」が22.2%等となっている。

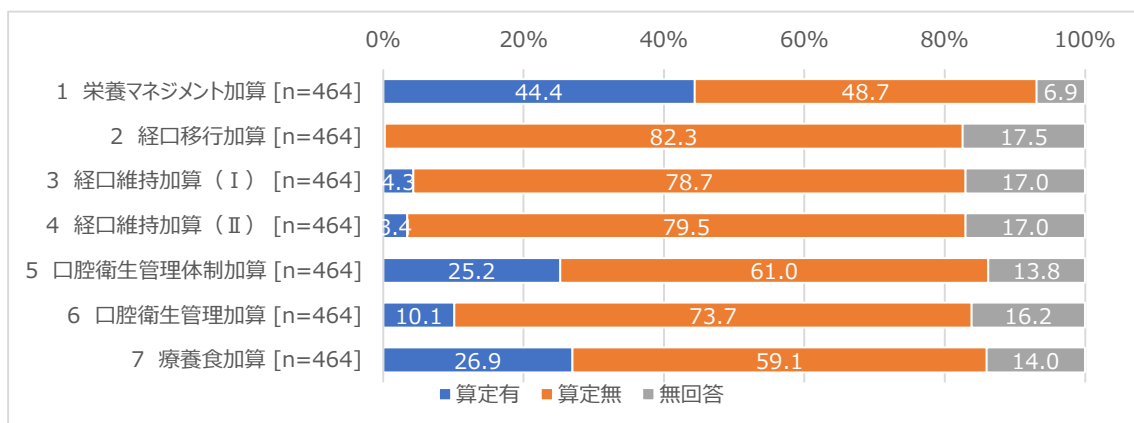
図表 83 栄養改善加算を算定していない理由〔複数回答〕



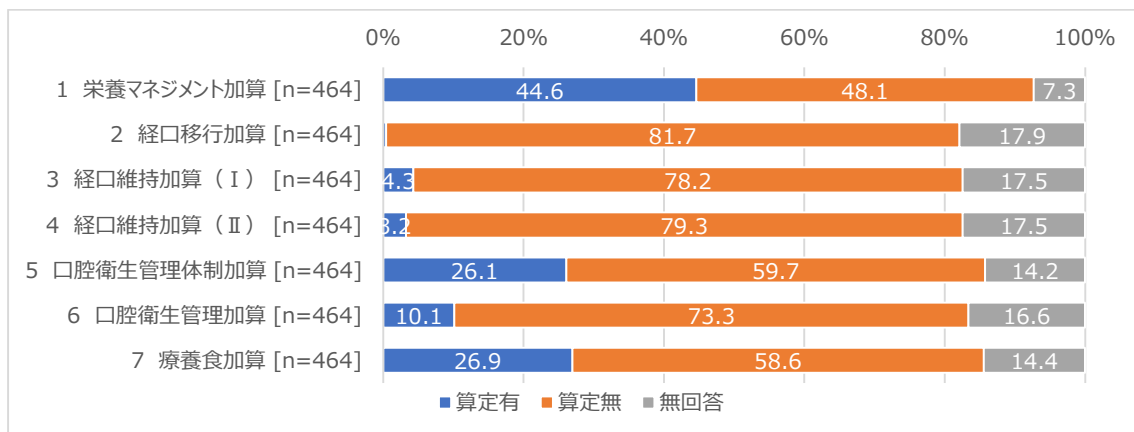
④施設入所支援の加算算定状況

施設入所支援に各種加算の算定状況を聞いたところ、令和6年7月、令和7年7月いずれも、「栄養マネジメント加算」の算定が多くなっている。

図表 84 施設入所支援の加算算定状況_令和6年7月



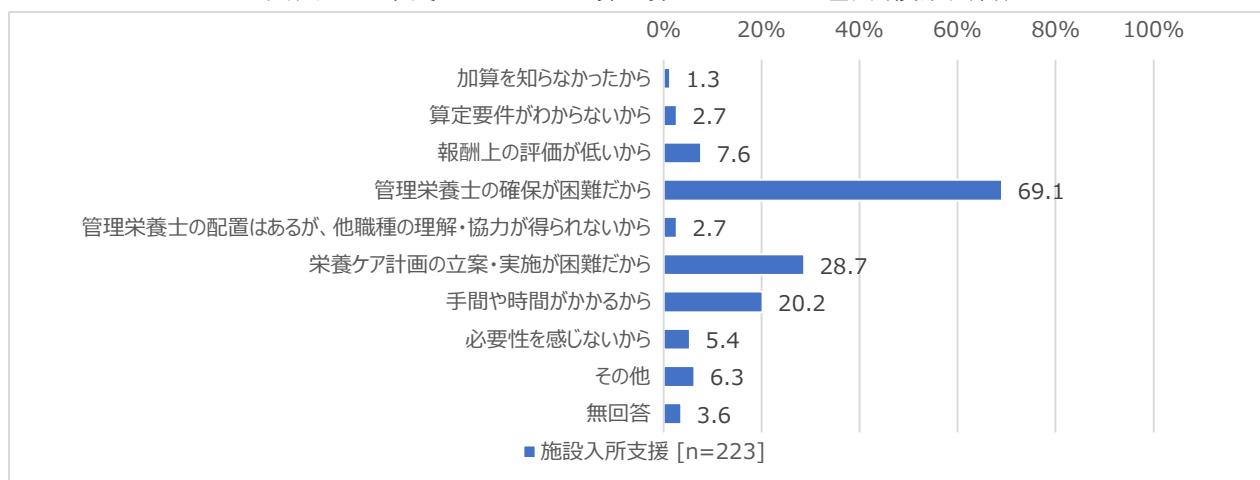
図表 85 施設入所支援の加算算定状況_令和7年7月



⑤栄養マネジメント加算を算定していない理由

令和7年7月に栄養マネジメント加算を算定していない施設に、その理由を聞いたところ、「管理栄養士の確保が困難だから」が69.1%と多くなっている。

図表 86 栄養マネジメント加算を算定していない理由〔複数回答〕

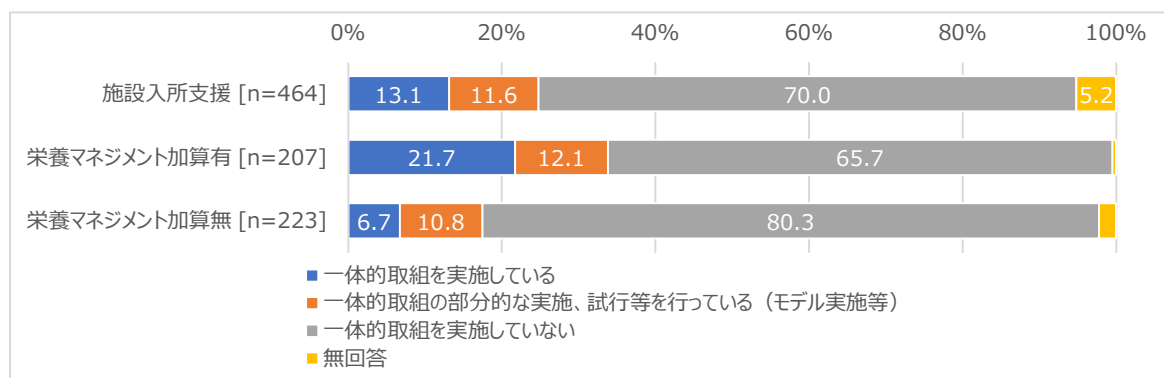


⑥リハ・栄養・口腔の一体的な取組の状況

施設におけるリハ・栄養・口腔の多職種による一体的取組の実施状況について聞いたところ、「一体的取組を実施していない」が70.0%、「一体的取組を実施している」が13.1%、「一体的取組の部分的な実施、試行等を行っている（モデル実施等）」が11.6%となっている。

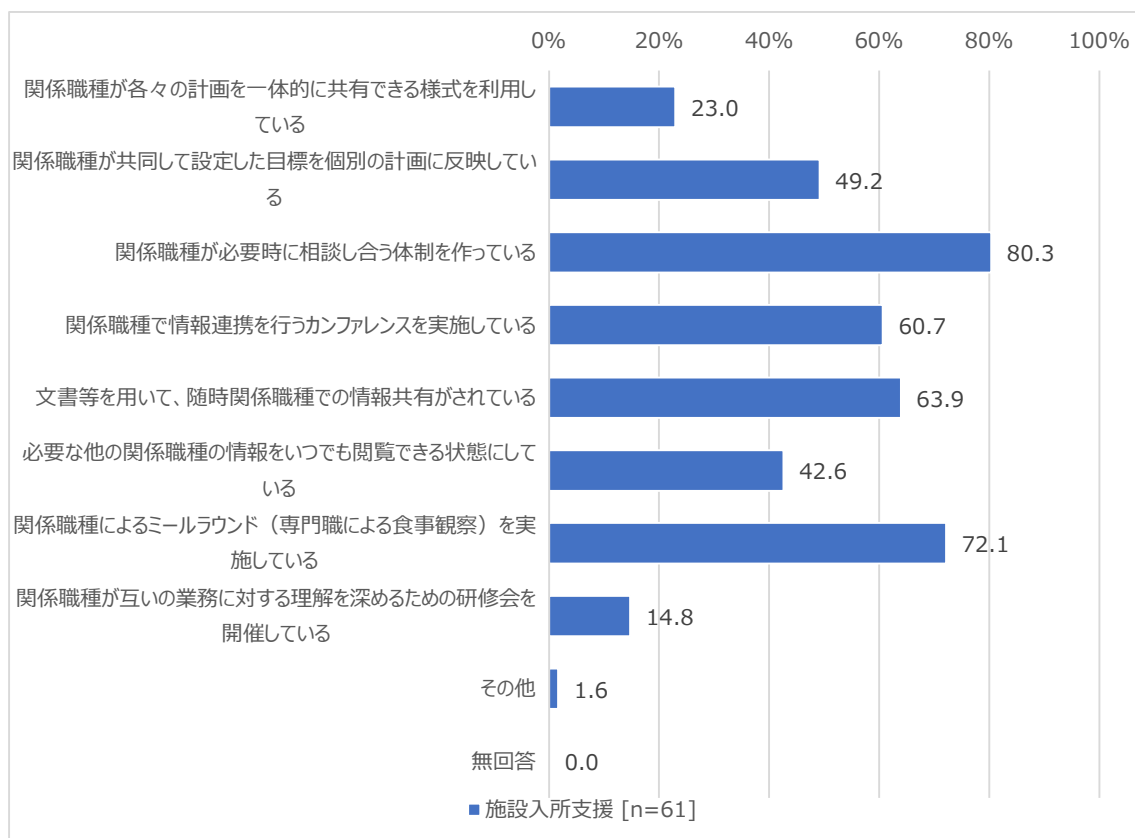
栄養マネジメント加算の算定状況で見たところ、加算算定施設で一体的取組の実施割合の高い傾向となっている。

図表 87 リハ・栄養・口腔の多職種による一体的取組の実施状況



リハ・栄養・口腔の一体的な取組を実施している施設に、一体的取組として実施している内容を聞いたところ、「関係職種が必要時に相談し合う体制を作っている」が80.3%、「関係職種によるミールラウンド（専門職による食事観察）を実施している」が72.1%、「文書等を用いて、随時関係職種での情報共有がされている」が63.9%等となっている。

図表 88 リハ・栄養・口腔の一体的取組として実施している内容〔複数回答〕



リハ・栄養・口腔の一体的取組を実施したことによる変化や感じられた効果としては、「口腔衛生状態の維持・改善につながった」が73.8%、「利用者の個別機能訓練・栄養・口腔の関わりに対する理解や意識が向上した」「摂食嚥下機能障害の予防や、機能の維持・改善につながった」がいずれも70.5%、「誤嚥性肺炎の予防や、リスクが高い利用者の早期発見につながった」が68.9%等となっている。

図表 89 リハ・栄養・口腔の一体的取組を実施したことによる変化や感じられた効果〔複数回答〕

